

その他の土木工事業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	11～ 12	当社の資材置場で、2人でコンクリートブロックの選別作業をしていた。ミニショベルのバケットに再利用できそうなブロックを積み込んでいたとき、バケット内の割れたブロックを取ろうと手を伸ばした瞬間、もう1人の作業員が入れた40kgくらいのブロックが右手の上に落ちてきた。	61	529	3	30 ～ 49
2017	1	18～ 19	土場でダンプ荷台に乗ろうとした時、ダンプ荷台に付いているハシゴから足が滑り、背後から地面に落ちた。	73	371	1	—
2017	1	16～ 17	店舗裏の氷（高さ約3m、幅約5m、厚さ、約30cm）撤去作業中、かけやを使用して横から砕いていき、残り約1.3mのところ屋根から落下した氷が脚立に当たり転倒し、その際に氷に挟まれ負傷した。	56	719	2	—
2017	1	14～ 15	事務所の屋根のハフに付いた氷を取るため、高さ1m80cmの脚立を置き、1m40cm位の所で作業をしていたところ、体のバランスを崩し脚立からコンクリートの地面に飛び降りた。その際、両足の裏の部位を地面に打ち負傷した。	71	419	3	10 ～ 29
2017	1	14～ 15	整備工場内にて修理作業中、左足の指先につり下げていた部品（30kg）が落ちて骨折した。工場での作業については指導されていたが、注意不足により事故にあった。	67	612	4	1～ 9
2017	1	11～ 12	自社加工場内で資材の氷取り作業中、足元の氷に足を滑らせ転倒し、右人口股関節の周囲を骨折した。	55	719	2	10 ～

									29
2017	1	12～ 13	車を停車していたとき、4t車に追突された。	50	221	17	—		
2017	1	9～ 10	自社資材置場において石材の整理整頓作業中、資材が氷っていたため滑り、右手薬指の先を挟む。	59	523	7	—	10 ～ 29	
2017	1	18～ 19	現場より事業所へ社有車の軽自動車を運転し帰社する途中、県道の交差点を直進していたところ、左手脇道から出てきた2台目の車と接触した。身体に痛みがあったため、救急搬送となった。	53	231	17	—		
2017	1	12～ 13	国道で除雪の作業調査をする時に、梯子に上がった環境で、フェンス上部の雪庇が落下し、それに巻き込まれる形で梯子から滑落し負傷した。	57	371	1	—	10 ～ 29	
2017	1	16～ 17	当社作業場において、重機の回送用ハシゴを4tダンプより荷降ろしする際に手からすべり落ち、左足つま先から足の甲にかけてハシゴ（アルミ製、W50×L3000×D100）が落下し、左足の親指を骨折してしまった。	69	371	5	—		
2017	1	11～ 12	大型ベンチフリームの底にて作業を行うため下に降りようとした際、足を置く所の目測を誤り、バランスを崩して転倒し、大型ベンチフリームの淵に股間にぶつけて被災した。	44	419	2	—	30 ～ 49	
2017	1	9～ 10	雪を払うために歩いていたところ、アスファルト脇に凍結したところがあり転倒した。その際、農業用草けずり（長柄約120cm）を持っていたため、左手首をねじり骨折した。	63	719	2	—	1～ 9	
2017	1	11～ 12	伐採作業の際、伐倒する木にワイヤーを括りつける作業中、はしごを固定しないため、はしごから落ちた。	53	371	1	—	1～ 9	
2017	1	10～ 11	覆工坂を開けて掘削作業中、操作者が掘削溝内を確認しようとバックホウを前進した時にバランスを崩し傾き、バケット部分が掘削溝内に居た作業員に接触して転倒し、バケットと地面の間に挟まれ	62	142	6	—	1～ 9	

			た。				
2017	1	10～ 11	資材を置くため、単管パイプ棚を作る作業中高さ80cmの棚からトラックの荷台上へ移動する際に足を滑らせて転倒、右肋骨及び右足を強打し負傷した。	54	521	2	—
2017	1	15～ 16	敷地内において、作業で高所作業車を操作してゴンドラ部に一人で乗り込み、チェーンソーを使用して樹木の伐採をしていた。木の中で段位の所を伐採中、倒す方向を間違っ、作業員側に伐採木が倒れ直撃を受け、ゴンドラと手摺の間に挟まれた。	67	712	4	1～ 9
2017	1	15～ 16	店舗外構改修工事現場に於いて、架設鋼板撤去時に、重機で吊りあげる際に単管パイプが跳ね上がり、単管パイプと接触し、顔の頬と目蓋に受傷した。	39	521	4	
2017	1	10～ 11	鉄筋出来形撮影用に準備中、鉄筋を結束線で（直立させるため）仮止めしていたところ、垂直にしようと引っ張ったところ、反対側の結束線が外れ、鉄筋がひしゃげて右背部に倒れ被災した。	45	521	5	100 ～ 299
2017	1	0～1	防護鉄板を吊り上げる際、吊り上げ金具がゆるんで外れ、支えていた左手を鉄板と鉄板の間に挟み、負傷してしまった。	25	372	7	—
2017	1	15～ 16	浄水管線NO.1送電線鉄塔基礎掘削作業現場において、重機による掘削作業（下段支保工設置部）が終了し、土工作業員による整地を開始したが異音と共に土止め矢板が傾きはじめ、支保工を繋ぐボルトが抜けて連鎖的に土止め矢板が倒れてきたため、作業員待避を掛けるも間に合わず、被災者が土止め矢板と鉄塔基礎の間に挟まれて死亡した。	50	412	5	1～ 9
2017	1	14～ 15	モータープールにおいて、大型トラックの荷台の上にて荷降ろし中、荷台から降りた際、着地した左足を挫いた。	30	416	3	—
2017	1	14～ 15	工事現場で、掘削部分の鏝落復旧の写真を写すため降車場に車を停め、車から降りた時に車止に躓き、転倒し尻もちをついた際に負傷した。	78	419	2	1～ 9

2017	1	8～9	脚立の4段目約1.2mに登り剪定作業をしていたところ、強風により脚立がずれた。その際、飛び降りたが左足から着地したため、全体重が左足にかかり、かかと部分を骨折した。	57	371	1	10 ～ 29
2017	1	15～ 16	3tダンプトラックにて材料をとりに行った。合材を積載したのちに保温用シートをかけていたところ風でシートが動いたので慌てて、左足でシートを押さえようとしたところ、誤って高さ1.27mから左側を下にして転落し、負傷した。	76	221	1	1～ 9
2017	1	14～ 15	トレーラー上で、シートパイルを積み込んでいる時に、三段目に積んだ時ベタ角がずれてシートパイルがずれて倒れて来たので慌てて飛び下りた時、敷鉄板が有り、足、かかとを強打して腰も負傷した。	46	611	3	—
2017	1	9～ 10	防雪柵下の雪崩の危険がある箇所の雪庇処理作業中、防雪柵の鋼材に親綱を取り付け、それに安全帯を掛けて作業を行っていたが、被災者は誤ってスノーダンプを落としてしまい、それを取りに行くため、安全帯を親綱から外して降りて行き、拾った場所でスノーダンプを振りまわした際に、足元の雪が崩れ、バランスを崩し約10m下の重機雪足場へ滑り落ち、背中を強打した。	41	416	1	50 ～ 99
2017	1	16～ 17	当社の資材置場にて仮設資材の整理作業中、地面に置いてあったバタ角（約10cm角の角材）につまずきバランスを崩し転びそうになり右手を地面についたとき、右手首をひねった様な状態になり負傷した。	44	417	2	10 ～ 29
2017	1	11～ 12	道路上で、俯せに下ろしてあったベンチフリュームを仰向けにするために掛けたワイヤーのフックが、完全に掛かっていることを確認していなかったために外れて足の上に落ちた。	68	372	4	1～ 9
2017	1	16～ 17	被災者は、施工場所の集落排水処理施設の内部足場上において、開口部側面のコンクリートをベビーサンダーによりVカットしていたところ、コンクリート破断片が右目に当たり右眼球を負傷した。また、作業中、保護メガネは未使用であった。	32	153	4	10 ～ 29

2017	1	11~ 12	本線路肩で非常電話の雪かきが終了し、車両（ワンボックス）の右後方部に、一般車（普通乗用）が漫然の運転により左側へ斜行し、作業員の持っているスコップ及び停車中の車両（ワンボックス）に接触・衝突した。	43	231	17	50 ~ 99
2017	1	15~ 16	資材置き場まで2tダンプで運転中、丸パイプとコンパネとリン木（型枠材）を積んで移動している最中、4tトラックとの接触事故が発生した。	18	221	17	—
2017	1	13~ 14	お客様宅の庭で石柱を移動中に、150kgの石柱を4人で持って運搬しようとした時にバランスをくずし、腰を痛めてしまった。	44	523	19	1~ 9
2017	1	11~ 12	ガス管理設工場の現場で、掘削深さが1.5mに近づいた為、土止め支保工を設置する為に掘削穴に入ったときに、壁になっていた砕石がくずれ左足に当たり左足ひざ部分を痛めた（左足膝靭帯損傷）。少し見えた水道管を確認しようと、壁から目をはなしたのが原因と考えられる。	44	711	5	—
2017	1	11~ 12	作業法面中腹（崩壊法面）にあつては、道路からの高さ120m、法肩40m下りた箇所、メインロープ、ライフラインの2本を使用して、作業に使用する金網を水平方向に運搬中に、メインロープ、ライフラインの2本の親綱の上方が、法面中腹の凸部に引っかかり、被災者本人が、それに気づかぬまま横移動を続けた結果、何らかの原因で引っかかりが外れ、地山に衝突し、肋骨、腰椎を骨折したと思われる。	47	711	1	—
2017	1	8~9	被災者は業務のため本社より現場に向かう為、自家用車にて左車線を走行していた。交差点にて信号待ちで停止していた所、右車線より車線変更してきた軽自動車は20~30kmの速度で被災者車の後方へ追突し、その衝撃で腰がしびれる様な感覚が生じた。	41	231	17	30 ~ 49
2017	1	16~ 17	チェーンソーで切っていた木を収集しようと思い、のり面を降りていたら、そこに竹（親指くらいの大きさ）があり、その竹が足の裏に刺さった。	32	712	8	1~ 9

2017	1	15～ 16	外構工事現場にて、作業完了後に片付けを行っていた時、型枠用のパイプサポートが伸びたままの状態です。車両に積み込もうとした所、サポートが勢いよく縮み親指と人差し指の間を挟み裂傷した。	21	391	7	—
2017	1	14～ 15	工場敷地内において、倉庫、石、植木等の造園資材を撤去及び移植、移動中に10尺の脚立から踏み外して、下に石、ガラ等があり、左かかとを骨折した。	42	371	1	—
2017	1	8～9	生コンクリート用砂利製造プラントで、ベルトコンベアー支持ピン（重量20kg）を取替中に、取替ピンを設置場所に一時預けていて、取替ピンがバランスを崩し落下し、ベルトコンベアー基礎の上に手を置いていた被災者の左手に落下し被災した。	48	521	4	50 ～ 99
2017	1	14～ 15	1番ティーにて枕木を設置している時に、枕木と枕木を連結固定するのにカスガイ（又釘）をハンマー（石頭）にて打設していた所、打設したカスガイが跳ねて眼に飛んできたカスガイの鋭利な部分が左眼球に当たり、眼球が破れて凹んだ。	32	379	4	10 ～ 29
2017	1	13～ 14	砂利プラントにおいて構造物の型枠が終了したので、生コンクリートをホッパーにて打設していた。ホッパー内のコンクリート投入が終わったので底扉を閉めるために開閉バーを操作し固定しようとしたが、コンクリートが挟まっていたため、2～3回前後にしゃくった後に勢いをつけて強く押して固定しようとした。その際、通常はにぎらない位置にあった左手小指を、固定用の鉄板の角にはさまれ負傷した。	48	379	7	50 ～ 99
2017	1	11～ 12	雑木伐採工事において、トラックにチェーンソーを取りに戻り、トラックから後ろ向きで降りようとタイヤに左足をかけた時足が滑り、荷台の縁で左胸下部を強打し、痛みが増してきた。	34	221	3	1～ 9
2017	1	8～9	当社作業場に於いて、ディスクグラインダーの点検中、電源が入っている状態だったため誤って刃に当たり、左手第2指を創傷した。	58	153	8	1～ 9
			会社倉庫内にてレンタル工具の整理を行う為、重さ約30kgのブレー				

2017	1	2~3	カーのノミを交換する作業を行っていたが、誤って手元が滑ってしまい、ノミが付いた状態のブレーカーが右足の上に落下し、右足の甲を負傷した。	30	145	4	—
2017	1	11~12	新築工事現場で造作作業中、はしごで2階より1階へ下りようとして、高さ約2m上よりバランスをくずして地上へ落下した際、全身を打撲負傷した。	72	371	1	10~29
2017	1	18~19	資材置場で後片付けを終え、2トンダンプで会社事務所に帰るため、開閉式の門を出たところで車両のエンジンをかけたままサイドブレーキを引き車両から降りて門を閉めた際、傾斜のある道路の田に向かって車両が動き始めたため、とっさに車両を止めようとしたが、止まらず車体に左足を接触し負傷した。	55	221	6	—
2017	1	9~10	会社駐車場にて車に乗り込もうとしてドアを開けた際、ドアが開ききらない内に乗り込もうとして、右手を打撲・裂傷を負った。以前にも、畑のモノラックの土嚢を降ろす際、レールにぶつけている。	63	221	7	—
2017	1	9~10	碎石場で10tダンプに碎石を積み込して、計量計に乗り、伝票を取りに事務所に行くときに、足元が凍結していて滑って転倒し、左肩を骨折した。	57	417	2	1~9
2017	1	10~11	資材置場にて、重機で整地作業後の箇所を歩いていたところ、地盤がゆるく下に空洞があり石と共に60cmほど滑落し、左足に石が落下し負傷した。	35	419	1	10~29
2017	1	11~12	会社の資材置場にて、4tダンプ上で石の積込をしていたところ、つまずいて石と共に4tダンプから落ち、石がふとももと腰あたりを直撃した。	61	221	1	10~29
2017	1	15~16	シュート部分にのりチェーン交換作業を行っていたとき、チェーン（全長4.8m、総重量約42kg）を両手に持ち、トロンメル本体に1つずつはめていたところ、最後のチェーン部分をはめる際に先にはめていたチェーン部分がはずれ、チェーンの重みに巻き込まれ、右手中指と薬指をチェーンと本体に挟み負傷した。事故当時は、滑り止	37	121	7	30~49

			めのついたゴム手袋を着用していた。				
2017	1	5~6	小さめの木材を切断中、切りにくいため丸のこ本体を逆に持ち、上部より切っていたところ、丸のこの刃が弾いて左手の手首に当たり裂傷した。	46	131	8	1~ 9
2017	1	11~ 12	水道の送水管埋設工事中、バックホーのバケットが貫通棒からすべり、不用意に本人がバックホーに近づき、左足小指の甲に当たり開放骨折した。	36	142	7	1~ 9
2017	1	15~ 16	水源地試掘作業中に、ロッド（Φ140mm、L=6.0m／本）数本を接続して試掘孔に挿入し、そのロッドを引き上げて切断作業をする際、ロッドの切断に使用している大スパナを取り外していたが、容易に取り外す事ができなかったため、少しゆるめるためハンマーでスパナに打撃を加えようとした時、足元のバランスを崩し尻もちをついた。その時機械の台座のH鋼の角にあたり負傷した。	51	416	2	1~ 9
2017	1	10~ 11	当社資材置場にて在庫整理中、U字溝を同じ大きさに合わせて運び並べていた。その際、先に置いていたU字溝と運んできたU字溝との間に左手人差し指を挟み負傷した。	55	529	7	1~ 9
2017	1	13~ 14	樹木栽培場で樹木伐採し、伐根をミニショベルで作業中に樹木根元で屈んで作業していたところ、ミニショベルをクローラ作動した時、屈んで作業していた作業員が上を確認せず立ち上がり、バケット横に側頭があたり負傷した。エンジン音のため、重機運転者も大きな声掛けができない状況であった。	33	142	3	1~ 9
2017	2	14~15	除排雪の業務中に足を滑らせ転倒し、その際に左手を受傷した。	54	719	2	10 ~ 29
2017	2	10~11	道路維持業務のため、法面で、伐採した根などの片付けをしていたところ、斜面で足を滑らせ木の切り株に左胸をぶつけ骨折した。	63	712	1	—
			後片付け作業中、会社敷地内を徒歩で移動中、坂道で転倒し腰を強				

2017	2	8~9	打する。下り坂で路面が凍結し滑り易くなっていたので注意していたが足元が滑り転倒した。転倒後、痛みが酷いので、休憩室で安静にしていたが、あまり改善されないで病院へ行き診察の結果、腰椎突起部が骨折していた。	41	719	2	30 ~ 49
2017	2	10~11	資材置場を整理中、板石の積み直しをされていて、持った石を置く際に、石が滑って下にあった石との間に、右手小指を挟んでしまい小指を負傷した。	44	523	4	10 ~ 29
2017	2	11~12	現場内資材置場にて鋼材（L=65×65×6、?=8.0）をディスクグラインダーで切断作業中、反対側から切断しようと鋼材の下をくぐろうとした際に、ディスクグラインダーの電源を切っていなかったため、刃が左手の親指、人差し指、中指、薬指、小指に接触し指を負傷した。（小指は軽傷、親指、人差し指、中指は骨に達しない切創、薬指は骨まで切断された切創である。）	69	153	8	100 ~ 299
2017	2	16~17	会社の車庫の前でダンプの整備中（注油）に後のアオリを押さえるツメが寒さで凍りかけていた為、後ろのアオリが閉まらず手で閉めようとして指を挟んだ。	45	221	7	1~ 9
2017	2	9~10	幅3m90cm×幅3mの長方形の広さの場所に太さ13mmの鉄筋を組みコンクリート打設作業をしている時、生コンをスコップで敷均ししようと鉄筋の上を移動した際、躓き転倒し右足アキレス腱を断裂した。鉄筋は20cm間隔で捨コンクリートより6cm浮いた状態であった。	64	417	2	—
2017	2	14~15	横断地下道の東側出入口部において、地下道内の作業（漏水補修）が終了し、後片付けをして事務所に戻ろうとした時、作業（1.9tダブルピック）の周囲に堆積した細かな砂利に足を滑らせ転倒し、左手首を突いて負傷した。	51	417	2	10 ~ 29
2017	2	16~17	森林斜面（10°位）にて、伐木（チェーンソーにて）作業時、立木上部にロープをかけて斜面上部側に引き倒す予定で、作業を急いでしまい、足の位置が伐木する立木の脇に出てしまい、倒れた後滑っ	64	712	6	1~ 9

			て足の甲の上に乗ってしまった。				
2017	2	13~14	公園内で枯損木を伐採する為に被災者（作業員）がチェーンソーを使用し、枯損木の根元を切断作業中、目視では確認出来ない空洞木であった為、切断箇所から2.2m上部まで幹が裂けてしまい、被災者（作業員）側にその幹が落下し、被災した。	68	712	4	1~ 9
2017	2	9~10	庭園管理工事を行っていた。剪定された枝を細くしていた。その際、手元確認を怠り、チェーンソーの刃が枝を持っていた左手に触れ、負傷した。（手袋装着あり）	33	136	8	—
2017	2	9~10	敷地内で伐採作業中、クレーンを使って伐採した幹を移動させる際、幹自体が思っていたより揺れたため、近くにいた作業員がコンクリート擁壁と幹の間に挟まれ、腰を打ったものである。	63	212	6	10 ~ 29
2017	2	9~10	重機置場の仮囲い設置作業中ハシゴを使用し作業している際、ハシゴから足を踏み外し地面に落下して尾?骨を強打した。	62	371	1	—
2017	2	12~13	7tダンプでアスファルト舗装ガラを荷台を上げて捨てる際、ガラが荷台の搬出口に挟まりそれを撤去しようとしたところ、アスファルト舗装ガラと搬出口の間に右手薬指が挟まり負傷した。（右手薬指切断）	52	221	7	—
2017	2	12~13	吹付工事現場から会社のトラックに搭乗し会社に戻る途中、S字カーブで運転手が脇見をしてしまい、高さ50cm程のブロック塀に衝突してしまい、その際の衝撃で負傷し、当日に通院した。	33	221	17	1~ 9
2017	2	16~17	自社の積み場にてトラックに敷石を積もうとしたところ腰に痛みがはしった。	47	611	19	1~ 9
2017	2	15~16	自宅前の倉庫の前でトラック（2t）からホースを下ろす時足を滑らして落ちた。前日にオイルをこぼして良く拭いておいたが少し残っていた。落下した時負傷した。	79	221	1	—
			個人宅の裏法面土止め柵工事で、資材H鋼を2人で運び掘削した穴に投入するため、H鋼片方にワイヤーを結びクレーン仕様のユンボで				

2017	2	15~16	1.5m位起こし引き寄せるため、作業員に退避する指示を出し実施したところ、待避位置が不十分でワイヤーから抜けたH鋼が作業員のヘルメットを押し上げ、体と共に、段差40cmある家の隙間に倒れH鋼が頭にあたり救急車で運ばれた。	62	372	4	1~9
2017	2	16~17	寮内の駐車場の砥石の均し等の作業を行っていたところ、第1と第2の駐車場が80cm位の段差があり、移動する際に通路（階段）を歩行していた時、左足が滑り負傷したものである。	50	413	2	10~29
2017	2	16~17	建設事務所発注の道路災害防除工事ロープ伏工事で、作業終了後、山から降りる為にモノレールの牽引車と荷物台車の連結部に乗車し移動中に、安全部のフックが垂れ下がっていたため、軌道と支柱の間にフックが挟まり、そのはずみでモノレールから転落し斜面を20m程滑落し、斜面途中のモノレール支柱に上着のフードが引っ掛かり停止した。その際、首を圧迫し、気を失った。	61	229	1	1~9
2017	2	16~17	当社作業場において、個人宅外構工事現場に用いるブロックをサンダーにてカット中手にはめていた手袋がサンダーと絡んでしまいその際右手親指下の手のひらの部分をサンダーの刃で切り負傷した。	43	153	8	—
2017	2	8~9	資材置場（当社）にて、入口付近に設置してあった鉄板90cm×180cmがガタついていた為、ガタつきを直そうと、3tクレーン車ラジコン付にて吊り上げようとした際、フックが完全にかかっていない状態でラジコンを誤操作してしまい、吊り上げ落下し、右足部に落下負傷した。	38	212	4	—
2017	2	11~12	ガス管150mm堀上工事においてガス管堀上作業完了後、残置ガス管の管端処理を行うには再掘削が必要となり、機械掘削には、山留材が支障となるため、山留材を撤去したところ崩壊し、落下したアスファルト（幅0.5m×厚さ0.1m×長さ2m）に右足を挟まれ、右下腿部を挫傷したものである。	32	711	5	—
2017	2	8~9	既設のブロック積天端で墨出し作業中、急に前のめりになり意識を失う。	68	999	99	—

2017	2	11~12	物置外壁の合板を胴縁にビス固定中、足場にしていた擁壁から落下した。擁壁天端の角に、肋骨をぶつけた。（原因）何らかの落下防止策をしていなかった。	58	419	1	1~9
2017	2	18~19	仕事道具を倉庫に片付けに行った際、草刈機を2台持ったままで2階にある駐車場から1階の倉庫まで階段を下りようとしたところ、その草刈機がフェンスにひっかかってバランスを崩し、階段上の踊場（高さ1.5m）から転落して、右腰を負傷した。	69	413	1	1~9
2017	2	16~17	太陽光発電の障害となる樹木の伐採中、傾斜地で伐木した木が沢方向に倒れた際、反対側の土手に当たり、気がバウンドして根元の部分が左腕と左太ももに当たり負傷した。	77	712	4	1~9
2017	2	14~15	工事現場にて、重機でコンクリート殻を処理作業中に、コンクリート殻を堆積している所から、コンクリート殻の1つが落下し、仕分け作業をしていた被災者の足の指に当たった。	23	711	4	1~9
2017	2	10~11	新築中アパートの外構工事の不整地にて、可変脚仕様のバックホウ（0.05?型）でキャタピラ幅を最小にして前進し作業場所到着後にキャタピラ幅を拡げる操作をしていた。当該場所は水道管等の埋設が終了直後の軟弱地盤である為、キャタピラ幅を拡げるため車体を支えていた排土板の左下が軟弱地盤に潜り込んだ。車体が左側に傾いた為、運転手が隣地境界のコンクリート擁壁（H≒40cm）下に投げ出され、擁壁天端に右足のみ乗っていたところバックホウが倒れてきて挟まれた。	36	142	2	1~9
2017	2	11~12	事業所内において、ダンプでの運搬作業に取り掛かる際に荷台にゴミを発見し、取り除こうと乗り込んだところ、前日からの雨で荷台の上が滑りやすくなっており、足をとられて前方へ倒れた。その際に荷台のへりで胸部を強打し、痛みが治まらず病院を受診したものである。	50	221	2	—
2017	2	10~11	地盤整備において樹木伐採をする際に、片手で樹木を押さえてチェーンソーを作動した。樹木からチェーンソーの刃が滑り左手人差し指を	23	136	8	—

			切った。				
2017	2	14~15	山中の現場にて、倒木の枝払いをチェーンソーを使用し、作業している時に、チェーンソーがキックバックし、左足に接触し、左下腿挫創、屈筋腱損傷を起こした。	58	136	8	10 ~ 29
2017	2	14~15	バックホウで、原木を移動させるために被災者が原木にロープをくくっている時にバックホウのバケットが当たった。	76	142	6	1~ 9
2017	2	11~12	倉庫において施工チーフが倉庫担当者（共に社員）に材料予約注文書を提出した際、口論となり揉み合いになった。その後、翌日、病院にて受診し右眼眼窩腫脹と診断された。しかし当時、その場には二人しかおらず倉庫担当者は殴られたと主張し、施工チーフは迫って来たので胸のあたりを制止したと双方の証言が異なっている。	44	921	6	50 ~ 99
2017	2	10~11	造成工事の後片付けの為、鉄板をトラックに積込作業していた。クレーン式バックホウで吊り上げたところバランスを失い、バックホウのアームに手を強打した。結果、右手小指付根を骨折した。	49	141	3	—
2017	2	10~11	土留支保工材を組立中に、誤って左手の上に落とし、薬指と小指を負傷した。負傷後すぐに病院にて受診した。	53	412	4	1~ 9
2017	2	10~11	自社管理施設森林内にて雷害によるかかり枝除去作業中に、脚立により枝切断直後バランスを崩し脚立より転落した。その際、腰を強打し骨折した。（脚立：3.6m、12段・作業時踏み棧9~10段目、約3m位置）（かかり枝部分：地上高約4m）	41	371	1	10 ~ 29
2017	2	23~24	電線地中埋設工事現場で管路掘削中に地中障害物（鉄管）が確認されたため、掘削溝の中で電気グラインダーを使用し切断することになった。（このグラインダーは安全カバーの外されたものであった。）管を切断中、刃がかみ、回転方向に走り、左足首を切った。安全靴は着用していたが、ロータイプのものであった。	24	153	8	1~ 9
2017	2	14~15	当社資材置場において、倉庫の屋根の波板を張るため脚立（高さ約180cm）の3段目（高さ約70cm）に上り材料を渡そうとした際、バラ	68	371	1	—

			ンスを崩し脚立と共に倒れ、左足首を捻り負傷した。				
2017	2	15~16	作業終了時、水路上のバックホウを吊り上げ時4tユニック車が倒れてきた。	47	212	7	10 ~ 29
2017	2	13~14	自社の土場（作業場）でアスファルトフィニッシャーのメンテナンス中に上部に備え付けてあるガスボンベを開栓し降りようとした際に、途中で足を滑らせて1m程落下した。着地の際にバランスを崩していた為、右足を捻り地面で転倒した。	38	149	1	10 ~ 29
2017	2	14~15	当社敷地内において、資材の整理中の事故である。被災者が、鋼矢板（L=4m、240kg）を重ね置きするために倒したところ、吊り金具（シャックル）が外れないため鋼矢板の両耳にフックを引っ掛け、クレーンで50cm程度吊り上げ、鋼矢板の下に右手を差し込み、シャックルを外そうとした時に、両耳に引っ掛けていたフックの片方が外れて落下し、下の鋼矢板と落下した鋼矢板で右手を挟まれて、右手親指及び薬指を骨折した。	54	521	7	30 ~ 49
2017	2	14~15	ブレーカーでコンクリートを斫る際にノミの先端が滑り、スカタンとなりブレーカーの持ち手ごと落ち込んで、周囲にあった鉄筋に左手人差し指を挟み被災した。	42	169	3	1~ 9
2017	2	14~15	現場作業が終了し、現場作業員は後片付けをしている状況を見守る中、三面水路側にバランスを崩し、転落した際に、水路側のコンクリート杭に股間を強打し、負傷する。	45	418	1	—
2017	2	11~12	家屋解体現場にて、トン袋の中に木屑を集め車に積み込む作業の中でバックフォア0.25のフォークに掛け吊す際にフォークの運転手の安全確認が、不十分によりフォークにトン袋を掛ける作業員の手まで、挟んでしまい負傷した。	64	145	7	10 ~ 29
2017	2	8~9	現場で組立作業中、工事で使用する道具を軽トラックに登って取り出し降りようとした際、軽トラックのふちに足を掛けて、足を滑らせてしまい、下に落ちた。左手を地面につき骨折した。	64	221	1	1~ 9

2017	2	10~11	事務所増築工事外壁サイディング張り施行時1段目足場上から足を踏み外して転落した。原因：落下防止手すりが1段しか設置されていなく、中間から転落したと思われる。	63	411	1	10 ~ 29
2017	2	15~16	当該現場において、下水道管の布設工事のため約2m地面を掘削した床面にて、管を繋ぐ作業をしていた。土留めのため側面に渡してある切梁サポートの管があったが、ちょうど頭の上にあったことを忘れ、作業直後に体を起こした際後頭部付近を強打し、首を痛め負傷したものである。	73	412	3	1~ 9
2017	2	9~10	クレーン作業による、金網運搬のため、道路上に13tクレーンを据えた後、法面作業員とクレーン付近で無線機の受け渡し等をしていたところ、法面左上部から落石が発生した。落下した岩自体は、既設の落石防止策で止まったが、落石防止策に当たった瞬間粉碎・飛散した岩の一部がクレーン運転手の左肘付近に接触し怪我をした。	20	711	4	10 ~ 29
2017	2	10~11	鉄筋籠（長さ9m、直径88cm）3本をトラックに積み、荷締めをしていた。鉄筋籠をしっかりと固定するため荷締めのワイヤーをずらすと鉄筋籠の上を歩いたところ、鉄筋から足を踏み外し（鉄筋の幅縦287mm、横282mm）膝まで鉄筋籠の中に足を突っ込むと同時に転落しかけ、宙吊りになった。その際右足脛を骨折した。	63	521	2	30 ~ 49
2017	2	14~15	改修工事現場で、床版下（中段足場上）において既設床版切断作業に先行して、カッター切断時の火の粉がブルーシートに引火しない様に薄ベニアで養生作業をしていた時、防災シート（下面）で覆われていた足場板が一部干渉した為動かそうとし手を伸ばした先に足場板がなく、中段足場上でバランスを崩し、1.2m下の橋座部へ墜落した。（養生シートにより作業床の開口部が見えない状況であった。）	50	411	1	1~ 9
			現場へ図面等を届けた帰り、本社に向かって社用車で走行中、目の前の信号が黄色に変わったため停止したところ、後方の右車線を走行していた相手車が、前方にいた右折の車を避けるために左側に車				

2017	2	15~16	線変更をして、当方の車に追突した。なお、事故直後は、加害者は「（信号が変わったばかりだから）お宅の車がそのまま行くだらうと思った」と言っていたが、後から「青信号だった」と発言が変わった。	30	231	17	1~ 9
2017	2	15~16	タンクからの漏水による陥没の復旧作業に従事していた。ポンプ車によりコンクリートの打設作業中、コンクリートの入りを確認しようと覗き込んだ時、土砂が崩れ、土の塊が背中に当たった後、左足首を直撃した。	64	711	5	1~ 9
2017	3	9~10	コンクリート土間の路盤を製作のため残土をバックホーでダンプに積み込み作業を行っていた。残土を積み込みブームを旋回中、バックホーが横転し、バックホーの屋根の一部に首を強打した。	51	142	2	1~ 9
2017	3	16~17	床面湧水処理で床付面より一段掘り下げて水中ポンプによる水替え用釜揚を掘削しており、水中ポンプへ砂の流出防止柵を設置の作業をしていた。掘削法面土砂が崩壊したため、土砂と共に砂流出防止柵が右足膝下に接触し、左側方に転倒した。掘削法勾配（1:05）を確保できておらず、現場法勾配（1:03）はであり、且つ、地山掘削の状況の危険度を軽視していたと思われる。	60	711	5	10 ~ 29
2017	3	10~11	道路を横断して側溝を布設する工事のため、路面に鉄板を敷いて、その下を掘削していたが、高さ・巾等を確認するために中に入る際（鉄板の下をくぐろうとした際）に、鉄板に左肩をぶつけて負傷した。	19	521	3	1~ 9
2017	3	14~15	リース業者ハウス置場にて、10tユニックで10tトレーラーにハウスを積み込む作業をしていた。被災者は隣接のハウスの天井で積み込みをするハウスの玉掛作業を終えたので、トレーラー荷台のクレーン操作者がハウスを吊り上げ旋回しようとした。被災者は向きを変えようとハウスの角（端）から少し手前を手で押さえたがハウスが回転せず、そのままハウスに押され転落した。	40	212	1	50 ~ 99

2017	3	8~9	当社作業所内において、2tトラックに材料（パネル等）を積み込み、その上にプレスト管（直径600mm、長さ5m）をトラックの屋根に立て掛けて積み込む作業中、ズレ落ちないようにロープを掛けるため、管とトラックのボディの間をくぐり抜けようとして、体をひねったときに腰に痛みが生じ、ぎっくり腰を起こした。	44	921	19	~ 29	10
2017	3	13~14	庭園工事の石組作業中に、左足を石と石の間に挟まれた。	60	523	7	1~ 9	
2017	3	14~15	被災者は燃料と材料の間の床養生（ブルーシート）された所を歩行中、シートのほころび部に右足を引っ掛け右足を跪き、膝をコンクリート床に打ちつけ被災した。被災者は作業状況を確認するため、ブルーシート上を一人で歩行していた。	59	416	2	~ 499	300
2017	3	10~11	木に登って作業中、誤って木から転落し、肩が枝に当たって地面に落ちた際、腰を打ちつけた。	66	416	1	1~ 9	
2017	3	13~14	砂防維持修繕工事において、樹木や下枝の枝落とし等伐採作業中に、伐採した枝をチェーンソーで約90cm程度の長さに切っていたところ、突然刃の回転が止まり、再び回転した際にチェーンソーが被災者側に跳ね上がったため、慌てて左手で払いのけようとして左手の薬指がチェーンソーに触れて受傷した。	69	136	8	1~ 9	
2017	3	8~9	庭園の工事において、庭園の石を運搬中、石を両手で持ち上げたときに、足元がぬかるんでいたためバランスを崩し転倒し、左手中指を持っていた石と地面に挟み負傷した。	34	416	2	1~ 9	
2017	3	9~10	キャンパス内で高木剪定作業時、高所作業車に乗った人が高枝を切り落とし、声をかけ合い作業をしていたところ、バスケットの影で切った枝を見失い、上から落ちてきた枝が頭部うしろ部分に当たり、ヘルメットをかぶっていたので外傷はないが、吐き気がして首から肩にかけてむち打ち状態になった。	30	712	4	~ 29	10
2017	3	11~12	樹木伐採工事にてチェーンソーを使用して伐採作業中、伐倒方向の見当を誤り倒れてきた木に激突し、頸椎捻挫、左身体部分を打撲し	21	712	6	1~	

			た。				9
2017	3	11~12	事務所置場にて場内整備作業中、ブロックを移動するためにブロックを繋いでいる杭を引っ張り、取れた反動でよろけ、地面にあった窪みに足がとられ左足首を捻った。	71	911	19	50 ~ 99
2017	3	8~9	従業員が運転するトラックで会社から作業現場に向かって移動中、トラック車体右側が中央分離壁に激突して交通事故を起こした。その際、助手席に同乗していた従業員がフロントガラスから投げ出されて重傷を負った。	26	221	17	30 ~ 49
2017	3	11~12	小学校にて剪定時、はしごをかけて上っている途中、足を滑らせ転落してしまった。	60	371	1	10 ~ 29
2017	3	17~18	倉庫内において、積み上げてあった袋詰になっているロックウール材料（耐火被覆工事に使用）の袋（90cm×60cm×20cm・重さ20kg）を整理整頓中、一部袋が破れていた為、作業中に中身がこぼれ、目の中に入り負傷した。	69	611	4	10 ~ 29
2017	3	10~11	ポンプ室エリア内の防潮堤工事で、コンクリート床版上に、アンカー筋（D22mm、長さ7.050mm）を完通させるため、ケミカル2本を先行挿入し、回転攪拌した後、3本目挿入準備として、ハンマードリルをワンショット操作でアンカー筋を引き抜こうとした。その際、アンカー筋の回転が停止する前に被災者が両手で握ったため、装着していたゴム手袋が巻き込まれ、左手親指を負傷した。	24	169	8	1~ 9
2017	3	15~16	残土場で残土受け取り作業中、河川の広い場所で踏み固め作業中にバックホウが転倒し、負傷した。	63	142	2	10 ~ 29
2017	3	14~15	建物内でボイラー修理作業中、地下のボイラー室へ入った際に入口の鉄製扉が倒れてきた為、止めようとし右手親指を挟まれ負傷した。	19	419	5	1~ 9

2017	3	13~14	ボーリングマシンで温泉掘削中、ロッド追管作業（ロッドを右手で押さえ左手でバイブレンチを持ち締める）をしている際、ロッドを支えているH鋼がずれ、体勢が前のめりで崩れ（体重が下に掛かる）、バイブレンチを持ったままH鋼に左手を着いてしまい負傷した。	38	364	7	10 ～ 29
2017	3	10~11	会社敷地内の水道修理のため、人力で土砂の掘削中、スコップを勢いよく地面に突き刺した際、何か不明な異物にあたり、その反動で跳ねた土が顔に当たり、慌てて汚れた軍手で顔についた土砂を拭いたところ、右目に少し痛みを感じたがそのまま作業を続けた。後日、視界や瞬きの際に違和感を感じ、痛みが増した。	74	364	4	1～ 9
2017	3	9~10	敷地北側の外壁ブロックを解体作業後、コンクリートガラを3tダンクに積み込んでいるとき、誤ってコンクリートガラと一緒に右手の薬指を挟んでしまい骨折した。	65	529	7	1～ 9
2017	3	13~14	自社所有の畑において、道路舗装工事をしていたところ、コンクリートの表面仕上げをコテで作業していた被災者が、近くで地均しをしている重機（ユンボ）の作業範囲内に立ち入ってしまった。戻ろうとした際、ユンボの動きに間に合わず左足ふくらはぎを強打し、左足首骨折および左足脛ひびを負った。	62	142	6	10 ～ 29
2017	3	14~15	工事現場において伐採した雑木を処分するため、当社所有の4tユニック車に積み込み作業中、荷台に乗ってユニックで吊り上げた雑木（直径約20cm、長さ約4m、重さ約90kg）を適当な位置に下ろすように支えていたところ、手元の確認不足のため、下ろした雑木と積み込み済みの雑木との間に左手第4指先を挟み負傷した。	67	212	7	1～ 9
2017	3	8~9	準備の段階で溶融材料を溶融釜に入れて熱を加えて液状にする際に、回転バルブが閉じられていたかPTOスイッチが作動されず、又、釜の中の材料も少なかったことに気付かず、釜の蓋を一気に全開にしてしまい、熱風が顔に当たり火傷をした。	20	519	11	10 ～ 29
			分譲宅地内で植木の伐採作業中、切り倒した植木の枝を切るため				

2017	3	11~12	チェーンソーをあてると、チェーンソーが跳ね返りを起こし、本人の左足の親指付近にチェーンソーが接触し足が切れた。	43	136	8	1~ 9
2017	3	15~16	石垣修復工事現場にて、石垣をつく作業（石を寸法に切る）をしている時、コヤスケを使用し、ハンマーでコヤスケを叩いて石を割っている時に、ハンマーがコヤスケに当たったときに滑り、ハンマーで左手を叩き負傷した。	39	364	3	1~ 9
2017	3	11~12	転倒した時、持っていた黒板が当たり、肋骨を打撲した。	35	417	2	1~ 9
2017	3	7~8	工事前の準備時に、ユンボのバケットを2tダンプの荷台に2人で載せる作業の際、被災者がバケットから手を離すことが出来ず、荷台に置いてあったバールとバケットの間に左手薬指が挟まれてしまった。	41	612	7	10 ~ 29
2017	3	11~12	消火栓設置工事の為、アスファルト舗装を電気ピックで取り壊し中、誤って右足親指をのみ先で叩き怪我をした。	37	169	6	10 ~ 29
2017	3	8~9	自社の倉庫で、被災者自らが溶接した鉄筋の加工物の修正作業をしているときに、電動グラインダーを使用していたが手元が狂い、その電動グラインダーの回転に跳ねられ、その刃先が被災者の足に接触した。通常装備された刃先の保護カバーは外された状態だった。	69	153	8	10 ~ 29
2017	3	17~18	石炭・バイオマス焚き発電設備建設工事で、被災者はΦ900のPC抗の打設を完了し、Φ300のPC抗打設のため盤替作業を行っていた。ロッドに取り付けてある練付けドラム（75kg）を2人で取り外す際に被災者の手がすべり、練付けドラムが被災者の右太ももにのったとき、練付けドラムを払いのけてバランスを崩し、右足首を捻った。被災者は安全帽、皮手袋、安全長靴、安全帯を装着していた。	25	391	19	1~ 9
2017	3	14~15	堀削土10tDTに積込作業中、土がなくなり、少し段差のある所を重機で登り土をかき集め、そのまま後進してしまい段差で天秤状態に	43	142	2	10 ~

			なり、半回転して転倒した。ブームを引き寄せて重心が重機の真上に行き、転倒しやすい状態に重機があった。				29
2017	3	10~11	外構の工事をしている、既存のパイプをサンダーで切断している時に、コンクリートに当たってサンダーが跳ね返って左手の甲を負傷した。	69	153	8	30 ~ 49
2017	3	13~14	コンクリート壁、生コン打設時にコンクリートミキサー車のシュート部分を型枠の中に治めるためシュートの先端に手を添え、運転手に合図を送り少しずつ型枠に近づくのを確認しながら作業を行っている時に、型枠とシュートの間に右手をはさまれ負傷した。	59	221	7	10 ~ 29
2017	3	9~10	農地災害の現場で、小口止めコンクリートの脱枠を行っていたところ、小口止めコンクリートが倒れてきて避けようとしたが、地面に雨水が溜まっており地盤が悪かったため避けきれず、土砂（裏込砕石を入れる場所）とコンクリートに挟まれた。	62	418	5	1~ 9
2017	3	13~14	重機置場で3tダンプより重機によって積み荷を降ろす際に、右旋回中に被災者を押し、被災者は転落し、臀部より落ちて全身を強く打った。	62	221	1	1~ 9
2017	3	14~15	2tダンプの荷台後面鋼板をはずす作業の際、後面鋼板と側面鋼板とのつなぎの左側ピンを外そうとした時、すでに外していた右側から後面鋼板がずり下がり、左側の後面鋼板と側面鋼板のすきまに左手薬指先端部がはさまれ、指の先端部を骨折した。	62	221	7	10 ~ 29
2017	3	9~10	農業用水路改修工事現場で、型枠のコンクリート打設後の片付け作業において、型枠の内側からタル木の切れ端を持ち出している時、型枠を越えようと足を型枠に引っ掛けて前に転倒し、左手首を負傷した。	61	416	2	1~ 9
2017	3	16~17	2階スラブ部の撤去作業中のバックホウ0.2?（ブレーカー付）運転者への合図員として、2階にいた作業員が重機作業終了後、コンクリート殻を人力で撤去するため移動したところ、足を滑らせ開口部に転落した。	58	411	1	10 ~ 29

2017	3	14~15	会社資材置き場の片付け作業で出たゴミを、ダンプカーでゴミ処理業者の敷地に運搬し、そのゴミをおろす作業中に、ゴミがダンプカーから落ちにくかったため、ダンプ荷台後部の錠を外そうとし、誤って鋼板を左足に落としてしまった。	41	521	4	1~9
2017	3	9~10	工事完成後の溜池において、測量を行っていた。溜池に1cm位水が溜った状態で滑り易い状態だったため転倒した。受身が取れず、足を負傷した。	65	417	2	10~29
2017	3	8~9	船上にて錨ロープ引き上げ作業中に、踏ん張っていた右足が滑り、右足首をひねった状態で倒れた為、右足首を2カ所骨折した。	59	239	2	50~99
2017	3	10~11	ヤードでコンクリートガラの破碎中、高さ30センチのロープに右足をひっかけ、右膝をコンクリートにぶつけた。	50	379	2	10~29
2017	3	14~15	工事現場内で、縁石ブロック据付に使用するモルタルをモルタルミキサーで砂とセメントを攪拌中、右手で搬出口にこびりついたモルタルを払おうとし、咄嗟に手を入れてしまい、回転翼にはさまり、右手中指第一関節を切断した。	19	162	7	1~9
2017	3	14~15	建設機械を使ってコンクリートをはがす作業中、建設機械の作業を補助するため近くではつりをしていたとき、バケットが跳ね上がり接触して負傷した。	41	142	6	30~49
2017	4	16~17	ダンプに載っている保温ボックスに入り工事用のアスファルト合材の余りを搬出している最中に、被災者が他の作業員にダンプアップを指示したところ、急激なダンプアップでバランスを崩し、アスファルト合材に膝から下が埋まってしまい火傷を負った。	58	911	11	10~29
2017	4	14~15	松の木を伐木作業中、上部を切り摘めた松の木にチェーンソーで切り込みを入れて、根元から倒す準備作業を終えて、安全な場所に退避している途中で木が倒れてきて、退避途中の作業員の頭に木の幹	67	712	5	10~29

			がぶつかった。				
2017	4	14～ 15	個人宅で剪定作業をしているとき、脚立の3m付近からバランスを崩し落下し、背骨を3ヶ所骨折し、頭部に切り傷を負った。	46	371	1	1～ 9
2017	4	20～ 21	バックスタンド01工区にて、コンクリート打設終了後、打ち継ぎ清掃の為のハイウォッシャーホースの先端器具を右手に持ち、昇降設備を使用せず枠組足場側面のブレースに足をかけて昇りながら、左手で2段目のブレースを握り、体を引き上げた際に左肘に違和感を感じたので足場から降りた。引き続き作業をしたあと帰宅したが、左肘を骨折していることが分かった。	20	921	19	10 ～ 29
2017	4	10～ 11	現場でブロック（200×400）を積む作業をしている時、低い姿勢から持ち上げたと同時に背中に激しい痛みを感じ、立つことができなくなった。	24	523	19	1～ 9
2017	4	9～ 10	法面排水工の基礎施工中、小段で敷モルタルを一輪車にて降ろそうとしたときにバランスを崩し、尻もちをついた状態で法面を滑り落ちて腰を打った。	65	362	1	1～ 9
2017	4	15～ 16	会社の資材置場で、地面にある庭石（丸型、直径50cm位）の整理作業中、石を横へ少しずつ手でずらしながら移動させていたところ、誤って他の庭石との間に指を挟んでしまった。	51	711	7	1～ 9
2017	4	11～ 12	会社の資材置場にて袋に砂を入れて運ぶ際、一気に持ち上げてしまったため、腰を痛めた。土木作業員経験は初めてであり、学生時代に腰を痛めていたことが今回の負傷につながったと思われる。	19	921	19	10 ～ 29
2017	4	14～ 15	自社砂利置場にて、敷鉄板（幅1.5m、長さ6m）をクレーン機能付きバックホウで10tトラックへの積込補助業務に従事中、吊り上げた敷鉄板が風に煽られ、トラックの荷台で誘導をしていた被災労働者がバランスを崩して転落（地上高1m）し、頭部等を強打した（ヘルメット着用）。	71	221	1	30 ～ 49
		11～	敷地内の竹林において、伐採した竹を粉碎機で細かくチップ化する				10

2017	4	12	ため機械まで運ぶ際に、竹の切株を踏んでしまい、左足首をひねって負傷した。	33	522	2	～ 29
2017	4	15～ 16	現場で石を直す作業中、前の石を動かした際に立石が倒れてきて、右腕がはさまれた。	81	523	5	1～ 9
2017	4	13～ 14	解体工事作業中、場内の分別と片付けをしているときに、高さ11.4メートルの養生足場が突風にあおられ、作業員側に倒れてきて、足場のパイプに股関節を挟まれ、基礎部分（コンクリート）が残っていた個所に腰を強打した。	66	419	5	50 ～ 99
2017	4	11～ 12	当社の畑で伐採木の積み重ね中、パワーショベルのハサミ（アタッチメント、挟む用）使用時にワイヤーをはずす際、右手中指先を挟んだ。	39	372	7	1～ 9
2017	4	14～ 15	リフォーム工事中、植木の処分のため植栽の根を抜いて電動丸のこを使用していたとき、手を滑らせてしまい左手薬指・中指を負傷した。	55	131	8	10 ～ 29
2017	4	13～ 14	当社資材置き場内駐車場で改良土移動作業終了し、通勤用自家用車で帰宅する際に自家用車から降り、急いで駐車場ゲートを開けようとした時、石につまずき勢い良く駐車場ゲートに突っ込み、ゲートに挟まれて左手小指、人差し指を損傷した。	21	419	2	1～ 9
2017	4	14～ 15	社有地でクローラクレーンの整備点検中に、足場に使っていた1.6Mの脚立の上から落下し、頭部と胸を打った。	62	371	1	10 ～ 29
2017	4	6～7	作業敷地内にある作業小屋において、工事現場に向かう作業員のため早朝に出勤し、1人で小屋の暖をとろうと薪ストーブに火をおこそうとしたところ火が燃え広がり、燃え広がった際や消火活動時に下半身（大腿部や臀部など）に火傷を負った。	70	522	16	10 ～ 29
		19～	被災者他3名は作業終了後、職長が運転する社有車で帰宅していた。主要地方道を走行中、信号の無い交差点で前方車両が右折待ちで停				10

2017	4	20	車していたので、続いて停車したところ、後方より追突された。職 長が咄嗟にブレーキを踏んだため前方車両には接触しなかった。全 員に外傷なし。	30	231	17	～ 29
2017	4	14～ 15	PC350バックホーの給油依頼を受け現場給油終了後、バックホーか らおりる際にステップを踏み外し、地面へ腰から落ち腰椎圧迫骨折 をした。	56	142	1	30 ～ 49
2017	4	11～ 12	被害者は、当社敷地内にある、資材小屋の屋根トタン修理のため、 他作業員1人と共に足場を組み、はがれているトタンの点検をしてい た。始めに1スパンずつの600mm枠組足場2段を左右に組み、4m 鋼製足場板を1枚渡して、高さ3.5mになった足場を組み終え、2人で 足場板の上に登り点検を終えた時に、足場板が2人の重みで弾み、し なり、揺らいたため、共にいた1人がバランスをくずして、被害者の 身体にぶつかり、衝撃で2人共、砂利の地面に転落し、左肘で自身の 身体を受けるような恰好でけがをした。足場板を結束せず、固定し ていなかったのが原因である。	35	411	1	10 ～ 29
2017	4	11～ 12	被害者は、当社敷地内にある、資材小屋の屋根トタン修理のため、 他作業員1人と共に足場を組み、はがれているトタンの点検をしてい た。始めに1スパンずつの600mm枠組足場2段を左右に組み、4m 鋼製足場板を1枚渡して、高さ3.5mになった足場を組み終え、2人で 足場板の上に登り点検を終えた時に、足場板が2人の重みで弾み、し なり、揺らいたため、被害者はバランスをくずし、他の作業員の身 体にぶつかり、衝撃により2人共、砂利の地面に転落した。落ちた 場所に大きな石があり、左足が乗っかり、左肘で自分の身体を受け る様な恰好で怪我をした。足場板を結束せず、固定していなかった のが原因である。	36	411	1	10 ～ 29
2017	4	11～ 12	工務店の作業場でクランプしめつけ中に、工具がはねて手を切っ た。	44	364	8	1～ 9
			会社社長に用事があり事務所に寄った際、事務所が二階だったの				

2017	4	17～ 18	で、帰りに階段から足を滑らせ階段中央付近から下のコンクリートの所まで落ちてしまった。しばらく仕事を続けたが腰痛があり、骨折であると分かった。	69	413	1	10 ～ 29
2017	4	9～ 10	水路工事中に、石段を登った地点で護岸に敷いてあった養生マットを踏みはずし、1.5m高さから石段に右足から着地して足首とかかとを負傷した。	55	911	1	1～ 9
2017	4	15～ 16	資材置き場において、道具庫で機械用具の片付け（整理）作業をしているとき、たまたま立てて置いてあったランマ（転圧機：全高1000全長700全幅400mm質量70kg／約）の位置をずらすため、右隣なりに置いてあった発電機をずらしたところ、ランマのバランスが崩れて倒れかかった。このとき、とっさにランマを支えたが支えきれず倒れ、支えていた右手がランマと発電機の取っ手に挟まれて、甲の部分を負傷した。	27	144	5	10 ～ 29
2017	4	13～ 14	サービスエリア内トイレで床洗浄機を修理業者に引き渡した後、清掃準備のためゴミ分別所に向かう途中。歩道を歩いていると側溝周りの路面のくぼみに足を取られて転倒し、右膝と左脇腹を強打した。被災当時、手ぶらで普通の速度で歩いていた。	61	417	2	50 ～ 99
2017	4	10～ 11	自社資材置き場で建築廃材の積み込み作業中2tダンプに倉庫内の土嚢袋を積もうとした時に脚立を使わずに2tダンプの荷台に上がろうとしたため足を滑らせ転倒し、荷台で胸を強打した。	37	221	2	1～ 9
2017	4	6～7	土場において材料をトラックに積み込み作業中、抱えていた足場材を膝の上に落として地面にひざまずき、右膝を負傷する。最後まで勤務し様子を見ていたが、痛みと腫れが出てきた。	25	521	4	1～ 9
2017	4	14～ 15	運送現場にて、歩行しているときに足場が不良であったため足に負荷がかかり、右足を負傷した。	53	719	19	1～ 9
2017	4	16～ 17	電気丸ノコで木材（桟木）を縦向き斜めに切断中に、丸ノコの刃が木材から後ろへ跳ね返り、木材をささえていた左手親指に接触し、	56	131	8	1～ 9

			第一関節あたりを切断した。				
2017	4	9～ 10	造成地で外まわりの石材工事中、石材を運ぶ最中、重さ25kgの石をもちあげようと力んだ時に腰に激痛がはしり動けなくなった。	45	921	19	1～ 9
2017	4	12～ 13	現場でコンクリート打設中、小手で均し作業中、型枠に指をぶつけた。	22	379	3	1～ 9
2017	4	8～9	現場敷地内、K-1調整池にて重機（BF0.7?）移動時、重機足元が滑ったものと推測される。その際、一段下がっている水深1m程度の池へ運転席（キャビン）側より転倒し運転席全体が水没した。乗降口は左側で、転倒時池底で塞がったため脱出が出来なかったと思われる。	40	142	1	30 ～ 49
2017	4	11～ 12	大径木（C≒1.8m）でのかかり枝にワイヤーをくくりつける作業を終え、1本梯子を使用し降下中、バランスを崩した反動で梯子が外れ3.5m付近から落下し、更に約4mの法下に転落した。その際、梯子は人力で支えていたが支えきれなかった。また、大径木で安全帯が使用できなかったため、枝にかけたロープを支えに下っていたが支えきれず、ずるずると降下し最終的にはきから離れて法下に転落した。	78	371	1	50 ～ 99
2017	4	14～ 15	急傾斜地工事で人家入口に養生鉄板（3.0m×1.5m×20mm）を設置する作業で、小型移動式クレーンに積んでいた鉄板をつり上げるため、縦方向に積んでいた鉄板の3m側に玉掛けを行いつり上げを行った。作業場所は勾配のある坂路で荷台は後方であり鉄板に玉掛けをし地切りをしたが、勾配のため鉄板が左に廻るように動いたので、荷台から降りずに荷台右端にいた被災者が右端から左端に廻って鉄板をよけようとし、つり鉄板の左角をかわして前に出たときに荷台左端の横側から1.5m落ちた。	37	212	1	1～ 9
2017	4	10～ 11	本社資材置場で、ユニック車の荷台を片付けるため、積んでいる土のう袋の上を移動し作業をしていた。その作業中に振り向いた際、足元を滑らし体勢を崩し転倒し、顔の正面をクレーンのブームに打	28	212	3	1～ 9

			ちつけ骨折した。				
2017	4	12～ 13	監査廊部のインバートのメタルフォーム上にて丸鋸で材料を切っている際、材料を取ろうとした時に滑って転び、左足大腿部の裏側を強く打った。	46	418	2	10 ～ 29
2017	4	13～ 14	会社敷地内の倉庫でホースを切る作業をしているとき、カッターで誤って左太ももを切ってしまった。	24	364	8	10 ～ 29
2017	4	11～ 12	玄関前の板石張り工事終了後、使用しなかった影石を一輪車に乗せて片付ける際に、タイヤが縁石に乗り上げてバランスを失い、石がころび落ちて右足第1趾、2趾を直撃した。	28	523	4	1～ 9
2017	4	15～ 16	河川の川床で、資材の片付け作業中、荷物運搬中に川床に足を滑らせ、河原の石につまずいた際足首をくじいた。又その際しりもちをつき掘削口へ滑り落ちた後、頭部を打った。作業していた場所は足元が粘性土で常に湧水があり滑りやすい状況だった。なお、保護具（ヘルメット・手袋・安全靴）は全て着用していた。	55	416	2	1～ 9
2017	4	11～ 12	地すべり工事のためアンカー工事中に、足場上でアンカー材グラウト注入作業が完了する度に足場解体を行っていた。足場解体作業の邪魔になったのでグラウト注入していたホースを移動させようと外した時に、セメントミルクが噴出して顔面（目）を直撃した。	27	519	12	30 ～ 49
2017	4	13～ 14	自社ヤードにて玉掛け作業終了後、トラックの荷台から降りる時にステップがあると勘違いして踏み外し、左足かかと骨が割れる等の負傷をした。	49	221	1	50 ～ 99
2017	4	11～ 12	自社ヤードで、フォークリフトを用い廃材を移動する作業をしている時に、バックをする際に後方確認が不十分だった為、後ろにいた被災者に接触し、足に怪我を負わせた。	17	222	7	10 ～ 29
		11～	雑木の伐採中に、切り手側の方に木が傾きかけてきたので被災者が押えていたところ、チェーンソーの刃が挟まって抜けなくなり、刃を				10

2017	5	12	抜く際に被災者が後方に待避を行ったあと、チェーンソーを抜く作業を行った時に反動でチェーンソーが後方まで大振りになり、左足太もも内側と右足脛にチェーンソーの刃が当たった。	36	136	8	～ 29
2017	5	11～ 12	工事のためしゃがんで作業し、後方の鉄製の一輪車（碎石満載）に気付かず勢いよく立ち上がった時に一輪車の角に腰部を強打した。	40	362	3	1～ 9
2017	5	15～ 16	道路誘導標の移設工事現場で、地中から掘り起こし置いておいてコンクリートの基礎をダンプに積み込む為、バックホーにワイヤーを掛け4点吊りをする際、一旦地面から基礎を少し吊り上げて、その下に台を置こうとした際に基礎が斜めになり、作業員の右手と右太ももに落下した。後方には基礎が立っており逃げ切れなかった。	79	611	4	1～ 9
2017	5	14～ 15	現場で鉄筋組みをしている時、組んだ鉄筋に躓き手から転んだ。	23	521	2	30 ～ 49
2017	5	16～ 17	会社機械置場で重機の整備後、帰るためにトレンチャーのキャタピラ（高さ70cm）から飛び降りたところ、着地時に右足首を捻った。	42	417	3	30 ～ 49
2017	5	16～ 17	資材置場にて壊したコンクリート片を潰して一定量溜めてトラックに積む作業をしている時に、積み込み機械の旋回範囲内に作業員が入りコンクリート片に支柱が付いたものがバケットからはみ出していて、作業員の服に引っ掛かり、転倒したところにあったU型のコンクリートにぶつかり、腕を負傷した。	58	141	2	1～ 9
2017	5	14～ 15	作業員2名で作業打合せをし、民家の敷地内にある古木丸太（長さ4m×木口25cm）を被災者が単独でチェーンソーで枝払い作業をし、もう一人が掘削機で丸太に台付けワイヤーロープを掛け地切りをした時、吊っていたワイヤーロープの撚りにより丸太が回転し、被災者の背後から左足脛部に当たり骨折した。	57	372	6	10 ～ 29
			会社資材置き場において、現場（個人宅）ブロック工事に行く為の準備作業中、重機廻送車後方で一輪車（ネコ車）に付着したコンク				

2017	5	7~8	リートをハンマーで叩いて除去していた時、廻送車両を移動させる際に十分な後方確認が行われないうちにバックし始めた為、被災者が気付いて避けようとしたが間に合わず、バックして来た廻送車両荷台後部に右腕が接触し負傷した。	46	221	6	1~ 9
2017	5	3~4	残土運搬作業中、トンネルを出て左カーブを曲がった時、繋ぎ目の段差で車体が飛び、着地後に腰に痛みがはしった。本人はギックリ腰だと思っていたが翌々日の朝起床したところ、痛みで起き上がることができなかった。	46	417	3	1~ 9
2017	5	9~ 10	工事現場内で敷地内の立木の枝の伐採作業中、落した枝をさらに短く切断しようと右手にチェーンソーを持って、左手で枝を押さえて枝を切ろうとした時に誤ってチェーンソーを左腕に当ててしまい、左手前腕部を削ってしまう。	63	136	8	10 ~ 29
2017	5	7~8	本社置場内において、スクリュウの荷卸しのためバックホーで吊り上げて移動している際、荷振れしてバックホーの運転席に接触しそうになったため、スクリュウを止めようと反射的に手を出してしまい、スクリュウとバックホーのフレームに指を挟み負傷した。	22	142	7	50 ~ 99
2017	5	14~ 15	林道上部の法面对策工事現場で法面上部に昇降するための仮設階段を法肩部に設置していたとき、法長45mまで登った箇所で踊り場上部斜面から岩石（長さ100cm・幅50cm・厚さ30cm）が落下して直撃、もしくは避けようとして踊り場から転落し、約20m下の沢へ滑落した。	55	711	4	1~ 9
2017	5	14~ 15	林道上部の法面对策工事現場で法面上部に昇降するための仮設階段を法肩部に設置していたとき、法長45mまで登った箇所で踊り場上部斜面から岩石（長さ100cm・幅50cm・厚さ30cm）と共に落下し、昇降階段脇に転落して被災した。	63	711	4	1~ 9
2017	5	8~9	資材置場において、工事資材の積み込み作業完了後、ふらついてトラックの荷台から落下した。	65	221	1	10 ~ 29

2017	5	15～ 16	住宅の敷地内で庭木の伐採中、木を切る位置を変えるためハシゴを移動し、ハシゴに登って上端を木にロープで固定しようと腕を伸ばした時にバランスを崩し、安全帯を使用していなかったため、転落し負傷した。	64	371	1	10 ～ 29
2017	5	15～ 16	被災者は同僚と二人で土場で資材の片付け業務に従事していたが、鉄板（240cm×120cm×18mm、重さ510kg）の移動作業中、挟み式金具でロックした鉄板をクレーン仕様のバックホウで吊り上げ、被災者の誘導に応じて移動位置に下ろした時、ロックがいきなり外れて被災者側に鉄板が倒れてしまった。その際、被災者は鉄板近くで手元をしていたため、咄嗟に避けようとしたが間に合わず、左足を挟まれた。	67	372	6	10 ～ 29
2017	5	10～ 11	石積にて法面補強工事を完了して、石と石との隙間をコンクリートで詰める作業中（最上部より下に向けて作業を進行2日目の作業に入る）、午前の休憩後に上から1段目の作業床に戻る時に足を滑らせてバランスを崩し、上段の作業床にぶつかりながら赤い表示の様に落下したようである。目撃者はなく、当人も覚えておらず、推定である。	25	371	1	1～ 9
2017	5	11～ 12	新たに設置する転落防護柵の支柱を建て込むための、コンクリートコア抜き作業を行っていたところ、削孔中に回転軸が歪み、ダイヤモンドピットが停止したため、モーターを上昇させ、ストッパーを固定し、ピット面の状況を確認しようとして指を入れた瞬間、何らかの要因でストッパーが外れ、コアドリルが下降してしまい、刃と地盤の間に指を挟み、左手中指第一関節を切断してしまった。	37	149	7	1～ 9
2017	5	16～ 17	農道拡張工事による残土整地中、農道中央にあるバックホーの横を右側よりすり抜けようとしたところ突然バックホーが前進し、左足をキャタピラに轢かれる。	73	141	7	10 ～ 29
		9～	型枠を解体中、バールを掛矢でこじて取ろうとしたが、誤ってバー				30

2017	5	10	ルの上に手がのって、掛矢で叩いてしまった。	73	364	7	～ 49
2017	5	11～ 12	マンションの駐車場外周の樹木剪定作業中、駐車場の塀の外側に落ちた切枝を片付ける為に高さ1.5m位の塀を飛び越えた際、着地した場所がコンクリート敷で衝撃があり、右踵部分の骨にひびが入った。	22	911	3	1～ 9
2017	5	16～ 17	水路工事の中で、可とう継手の取付作業をしていて、水路の下面のコンクリートが濡れてプライマーの塗料が塗れないので、トーチランプでコンクリートを乾かしている時、近くでプライマーを塗布していた人の塗料をこぼしたのに引火して、塗装していた人が驚きズボンにこぼし、それにも引火して左下肢と左手指に火傷をした。	70	512	11	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	廃棄物分別作業場にて、ダンボールをメッシュパレットに詰める作業中、重機で持ち上げられたメッシュパレットが落下して、右足の上に落下した。	39	142	4	50 ～ 99
2017	5	17～ 18	現場で堤防の確認中に、ブロックの上から転落した。	57	419	1	10 ～ 29
2017	5	10～ 11	工場現場内にて、コンクリート取り壊し作業中、コンクリート壁を撤去する時にコンクリートの上に乗って作業していた際、コンクリートブレーカーが滑って右足のつま先付近に接触した。	36	145	7	1～ 9
2017	5	8～9	作業中、高さ3m程の所から足を滑らせ、作業中の草刈機が足に接触し負傷する。	63	169	8	30 ～ 49
2017	5	14～ 15	顧客先の緑地にてチェーンソーを使用し樹木伐採作業中に、勢い余ってチェーンソーと左腕が接触し負傷した。	40	136	8	1～ 9
2017	5	17～ 18	荒れ畑で、周囲の竹や木を伐採作業中に、倒して小切りにした直径20cm・長さ1.5m程の丸太を乗り越えようとして、足を乗せたら丸太	45	712	2	1～ 9

			が転がり、転んだ際に左手をつき、手首を骨折した。				
2017	5	10～ 11	落石防止網工の施工中に作業員が法面（高さ2.0m）から転落した。 金網架設時、高さ5m付近の障害物に金網が掛かってしまい、それを 作業員が手で外したあと降下中に高さ2m付近で転落した。法面降 下中に金網用フックが付いていると思い親綱を外したところ、フッ クが外れており転落した。	53	711	1	1～ 9
2017	5	11～ 12	倉庫において、組んでいる棚に乗るため近くにあったトラックから 登ろうとしたところ、バランスを崩して地面に飛び下り、両足の足 首と甲を計5ヶ所骨折した。（棚の高さ2.5m、トラックの一番高い 所2.3～2.5m、トラックと棚の間50cm程度）	25	418	3	10 ～ 29
2017	5	7～8	トラック荷台にて合材シートが落ちそうになっているのを直そうと 荷台へ上ろうとした時に、雨だったこともあり、誤って足を滑らせ て転倒した。しばらく様子を見ていたが痛みが引かず、肋骨骨折で あると分かった。	47	221	1	1～ 9
2017	5	11～ 12	角度30度位の法面でヒラドツツジの剪定作業をしていた時、法面で 足を滑らせ、持っていたトリマーに右手が接触し負傷した。	43	169	8	1～ 9
2017	5	9～ 10	個人宅にて2名で樹木の移植作業中、足袋で作業中の被災者が、土中 のガラス片に気付かず踏みつけ、左足を負傷した（足袋のみ着 用）。	47	529	3	1～ 9
2017	5	10～ 11	個人宅にて脚立に乗って剪定作業中、脚立の2段目から誤って足を滑 らせて横向きに転落し、左肩の方が後ろにずれてへこみ、左手首を 骨折した。	62	371	1	1～ 9
2017	6	16～ 17	工場の敷地内の工場にて、約100kgの架台をリフトで運んできたのを 工場の中に3人で手で運び、架台を置く時に躓いて、架台と地面の間 に手を挟み、右手の薬指を複雑骨折した。	66	521	7	1～ 9
2017	6	10～	制限区域内での草刈作業中に、業務処理責任者が、刈払機で作業し ていた作業員の左側後方から、合図をせず近づいてしまい、作業員	56	169	8	50 ～

		11	は気付かずに左側を向いた際、業務処理責任者の右側膝部分に刈払機の刃が接触し、被災した。					99
2017	6	7~8	自社給油スタンドでの給油後、給油カードを事務所に返却するために助手がモーターグレーダーより降りて事務所に返却しに行っている間に、被災者が所用の為にキャビンより降りた際に足を滑らせて転落し、失神しているのを助手が発見したものである。	33	141	1		30 ~ 49
2017	6	9~10	会社の資材置場において、コンテナ内の道具類を整理整頓した後、外に出る際に開閉ドアの横に保管（20段積み、高さ約2m）してあった架設足場が崩れ、それが開閉ドアに当たり、開閉ドアとコンテナの間に挟まれ左手を負傷したものである。架設足場の保管状況の点検を怠っていた。	24	411	7		10 ~ 29
2017	6	10~11	加工場において、仮設材の整理をしていたところ、とび出していた角パイプにぶつかり転倒した。	65	521	3		10 ~ 29
2017	6	16~17	盛土法面部で一輪車に土砂の積み込みを行い、作業箇所へ移動しようとして方向転換した際に、バランスを崩して転倒した時、一輪車のハンドル部分が大腿部に当たった。	57	417	2		1~ 9
2017	6	16~17	現場から会社へ帰社途中、トンネル内にて、対向車線をはみ出して来た車に追突され被災した。	38	231	17		10 ~ 29
2017	6	16~17	パーキングエリア内にて、トラックの積み荷を固定していたロープのゆるみを締め直そうとして引っ張った時、手が滑り、後ろに転んだ。転んだ時に右手を地面につき、右手首を痛めた。	44	416	2		1~ 9
2017	6	8~9	会社土場で現場へ行くための準備中、コンクリート蓋（縦40cm×横50cm×高さ10cm）が通常置いてある場所より奥の方にあり、無理に引っ張り出そうとして姿勢がおかしくなり、腰を捻ってしまった。	36	921	19		30 ~ 49
		15~	現場にて4tトラックに塩ビ管を積み、荷台から降りる時、あおりを					1~

2017	6	16	留める金具にズボンが引っかかり、落ちた時に左手手首を負傷した。	45	221	1	9
2017	6	10～ 11	4tダンプトラックの上で荷役作業中、長い丸太に足を引っ掛け転落し、右手首を負傷した。	39	221	1	1～ 9
2017	6	11～ 12	樹木の剪定中、脚立の2段目辺りからバランスを崩して落下した。下にあった石に顔面から落ちた為、鼻を切傷及び骨折した。	62	371	1	1～ 9
2017	6	16～ 17	構内にて、翌日準備の荷物積込中に、荷台とロッドの間に指を挟み、右手小指先端を負傷した。	41	221	7	50 ～ 99
2017	6	9～ 10	草刈り作業の為に、作業現場に到着し、車両の荷台に乗って、作業用具の積み下ろしを行っていた際、荷台の上で用具に躓いてしまい、体のバランスを崩し転倒してしまい、その際に荷台の一部に右肩を強くぶつけ負傷したものである。尚、当日は痛みがあったものの、そのまま作業を続け、翌日に痛みが増した。	18	379	2	10 ～ 29
2017	6	15～ 16	県道（路上）にて、買い物後、工務店資材センターへ帰社している時、突然加害者Aの車両がセンターラインを越えて、工務店Bの車両に正面衝突する。被災者は、助手席にてシートベルトをしていた。事故後、病院へ救急車にて搬送される。入院はせず、整形外科へ通院する事となる。	41	231	17	10 ～ 29
2017	6	11～ 12	被災者は、道路脇歩道にて植樹柵の街路樹の剪定作業の途中であった。被災者が木に登り作業をしていた際に、安全帯を掛け替えようとしたところ、バランスを崩してしまい落下し受傷した。	70	712	1	10 ～ 29
2017	6	11～ 12	草刈工事で草刈清掃中に、足を滑らせて下に転落した。その際に、右足首内側のくるぶし下を骨折したものである。	47	711	1	10 ～ 29
			倉庫作業中、棚（アルミ）の下回り足元の周りにガラ袋等があり、材料片付けをしていて足元が滑りって転倒しそうになり、物に掴ま				1～

2017	6	7~8	ろうとしたところ、棚にあった消火器の箱に手首をぶつけて骨折した。しばらくの間、怪我をした事を会社に言わず黙って仕事を休んでいて、社長に連絡が入ったのは2ヶ月後であった。	16	611	3	9
2017	6	8~9	会社の資材置場で、草刈機で除草作業中、生い茂った草で見えなかったU字溝の上に乗ってしまった。雨が降っていたため滑って、左側に転倒してしまい、左側の首を強打した。	72	711	2	10~29
2017	6	9~10	最終沈殿池北西外周部にて、ブルーシートを折り畳む作業をしていた（推定）際に、バックホウに対して後向きに作業を行っていた為、バックホウの移動に気付かず、移動してきたバックホウのキャタピラの下敷きになった。	68	142	7	30~49
2017	6	13~14	舗装工事現場で、1t振動ローラの積込作業をしている時に、振動ローラを4tユニック車に載せたところ、ローラの子輪をロックする前にエンジンを停止したため、振動ローラが後方へ逸走してしまった。その際、被災者はローラのハンドルを持ったまま止めようとしたが、そのままローラの後進が続き、4tユニック荷台の近くに停車していた3t振動ローラとの間に、右手小指を挟んでしまった。	20	144	7	50~99
2017	6	15~16	置場で型枠、補強材の単管パイプを片付け、整理している作業中、連日の雨で足元が悪く、滑った時に腰を痛め、また膝にも痛みがあった。	40	921	19	1~9
2017	6	16~17	プラント内を清掃中、スクリュウのスイッチが切れていると思い込み、右手人差指を入れてしまい、指先を切断した。	39	169	7	1~9
2017	6	13~14	竹林をチェーンソーで切り、ミニコンボで歩経路を作る作業を行っていた。チェーンソーで竹を切っている作業中、被災者は竹が倒れる方向を一定にするため、竹に手を添えて押さえる作業に従事していた。足元がフラットではなく傾斜地となっており、被災者はバランスを崩して足を滑らせ、チェーンソーの方向に倒れてしまい、右脇の下、右腕内側を負傷した。	62	136	8	1~9
			現場内作業（柱状改良杭）中に、オーガー先端の拡張刃の作業不良				

2017	6	8~9	に気付き、セットハンマーで不良箇所を叩いた際に、泥か礫が飛散し右目に当たり被災した。	50	143	4	1~ 9
2017	6	14~ 15	個人の山を造成工事中、伐採作業を行っていた際にチェーンソーが跳ね返り、左膝に当たり挫創した。	64	136	8	10 ~ 29
2017	6	13~ 14	工事現場で作業移動中、足元がふらつき、手をついた所に型枠固定金具があり、手に突き刺さり、左手の平を切った。	54	418	2	10 ~ 29
2017	6	16~ 17	資材置場において、4tトラックの荷台ドアを外し、外したドアをユンボで吊り、トラックの荷台に載せていた際に、吊り下げていたドアと荷台の間に右手中指を挟み負傷した。	34	611	7	1~ 9
2017	6	11~ 12	公園内の石垣にて、石垣に生えている草の除去作業中、擬木柵にメインロープを緊結し作業を行っていた。その際、擬木柵にメインロープのフックをしっかりと掛けていなかったため、メインロープが外れ、4~5mの高さから転落した。	38	418	1	1~ 9
2017	6	11~ 12	当社施工現場付近の路上で、街路樹の剪定作業中に、チェーンソーを使って伐採した枝を切断していたところ、誤って左手小指から手首にかけて負傷した。	73	136	8	1~ 9
2017	6	11~ 12	自社、資材置き場にて伐採作業中、刈払機の操作を誤ってしまい左足を負傷した。	24	169	8	1~ 9
2017	6	9~ 10	自社資材置き場にて、資材の片付け作業を行っていたところ、塩ビパイプを移動した際に、雨で濡れた地面で足を滑らせて転倒し、左肩部を脱臼した。	70	416	2	30 ~ 49
2017	6	18~ 19	自社ヤードにて4tダンプから荷降ろしの際、後方あおりが滑り落ち、右足の甲に当たり、親指を骨折した。	30	221	4	1~ 9
2017	7	10~11	資材積込後、荷を固定する作業中、4t車アオリに左足を掛けて、ベルトの固定を確認しようとしてバランスを崩して地面に滑落し左手	49	221	1	10 ~

			首骨折、及び前歯を損傷した。				29
2017	7	8~9	当社毎年恒例の、従業員海水浴の開催前準備のため、海水浴場の海岸で、海水浴当日使用する水上バイクの点検作業を終えて、トレーラーに積み込み作業中、急激な高波を受けて水上バイクの座席部分に股間部分を強打し、負傷した。	51	713	6	10 ~ 29
2017	7	15~16	事務所倉庫にて作業中、足場を整理していたところ転倒し、床にあったH鋼にぶつけて骨盤を骨折した。	45	417	2	10 ~ 29
2017	7	14~15	庭の手入作業中に、電動バリカンで植木の刈込み作業中に、誤って左手、人差指の先を、切ってしまった。	66	169	8	1~ 9
2017	7	11~12	コンビニでトイレに入るため駐車、降車した際、車のドアに手を挟み負傷。	64	231	7	10 ~ 29
2017	7	15~16	外構工事自社元請現場内において、左手でフェンスを抑えながら右手でベビーサンダーを持ち作業中に、機械の反動で誤って上肢左前腕中央部を切ってしまった。 機械：長さ26cm×幅11cm×高さ10cm重さ1.6kg	61	153	8	1~ 9
2017	7	10~11	お寺にて、松や樹木の剪定作業をしている時に、12尺脚立の昇降時に、足を脚立から踏み外し、作業下の側溝部へ落下し、頭部の打撲裂傷になった。	78	371	1	1~ 9
2017	7	9~10	自社の資材倉庫で2階に脚立をかけ、看板をおろそうとして脚立に登っている時、バランスをくずして脚立が倒れ、2階の床にぶら下がって両手の薬指を骨折した。	57	371	1	10 ~ 29
2017	7	9~10	会社借用の資材置場に、アスファルトを砕いた片を捨てに車両にて行い、その後、アスファルト片の状況を確認していたところ、草が水路に被さっていたのを知らず誤って転落したもの。	38	418	1	10 ~ 29
			4tダンプ荷台の確認のため、ステップを降り、アスファルトに着い				10

2017	7	14~15	た時、右足首をひねった。	42	221	3	~ 29
2017	7	14~15	事務所敷地内にある作業場において、排水柵を制作するためにコンクリートを流し入れた枠を取り外す作業をしていたところ、足を滑らせ転んだ時に手をつき左手中指及び薬指を骨折した。	18	412	2	1~ 9
2017	7	15~16	工事現場にて、間知ブロック1個を積工し易いように単独で並べる作業中、慌てていたため誤って隣の同ブロックとの間に左示指・中指を挟んでしまい負傷したものの。	33	419	7	1~ 9
2017	7	9~10	工場内でパイプの溶接・切断作業中に工場内を走行していたフォークリフトがパイプに接触したため、パイプがずれて両足ふくらはぎに当たり負傷したものである。	37	142	7	10 ~ 29
2017	7	12~13	工場内において前処理のため、品物の入った箱を持ち上げた際に腰を痛めた。	61	142	3	10 ~ 29
2017	7	10~11	当社置き場において、ダンプに積んである二次製品（側溝蓋、縁石等）をバックホウに吊って荷下ろしをしていた際、手元をしていて地面に下ろしたところ、誤って指を下敷きにしてしまい、自力で引き抜いたところ、右手中指先端の皮と肉がめくれ出血した。	57	142	8	30 ~ 49
2017	7	14~15	整地作業が終わり、帰り支度のため車両を誘導していた際、碎石が積まれているところで足をとられ転倒してしまい、誘導していた車両の後輪に足を引かれ負傷した。	36	417	2	10 ~ 29
2017	7	16~17	土間の撤去が終わりトラックで運搬したガラ袋を持ってコンテナの後に来た時置いてあったガラ袋に隠れていた差し筋アンカーに左足の外側が当たり打撲した。翌日になっても痛みが引かなかった。骨折していた。	65	523	4	1~ 9
2017	7	15~16	伐採現場で剪定及び枯損木伐採により発生した枝葉を2tダンプの荷台の上下で受け渡し中に雨で濡れていた枝に足を滑らせ落下した。	46	221	1	1~ 9

			その際右手を着き右手首を打撲した。				
2017	7	8~9	工事現場でバックホウで発電気をワイヤで吊り所定の場所へ移動中ワイヤが揺れて、発電気に載せてある、発電気の台を取ろうとした時に吊してあるワイヤと発電気の台に右手人差し指を挟まれ、人差し指より出血する。	70	212	7	1~ 9
2017	7	8~9	会社の構内で、パトロール車への舗装補修材の積み込み作業が終わり、片付けを始めたところ、後方からきたフォークリフトのフォーク部分が右足に接触し、前方に停車していたパトロール車との間に挟まれた。	57	222	6	30 ~ 49
2017	7	0~1	トンネル剥落防止の金鋼固定用アンカーボルトを打ち込み後、余分な先端部分をベビーサンダーで切断作業中、右手首をサンダーの切断刃にて受傷した。	47	153	8	1~ 9
2017	7	14~15	場内工事用道路にて、敷鉄板盛り替え作業を行っていた。玉掛け作業完了後、重機作業半径の外に退避する際、敷鉄板上の泥で足を滑らせ転倒した。転倒した際に、右足くるぶしを敷鉄板の角に、強打ち骨折した。	54	416	2	50 ~ 99
2017	7	16~17	他作業員3名と流路工の玉石敷設時にベッセルを斜めに傾け、玉石を転がしながら作業していた時、意図しないタイミングで玉石が落ちてきて左手に当たり受傷した。	53	142	6	10 ~ 29
2017	7	16~17	本社、作業場において、作業場の整理をする中、ベニヤを選別し、使用可能なベニヤにするために加工（切り落とし等）している時、誤って昇降機（のこぎり）で親指を負傷した。	59	131	8	10 ~ 29
2017	7	16~17	自社倉庫の平坦な場所で幅150ミリのH鋼を積み上げ重ねている作業中、左手の人差し指がH鋼同志に挟まり、その瞬間指を引っ張り指の肉が取れた状況である。	19	521	7	1~ 9
2017	7	10~11	建設事業者土場草刈り作業において、空き缶等のゴミが散乱しているのが草で見えにくい状況の中、草刈り機の刃を草の根元にあてが	31	169	4	1~

			い横に滑らせながら作業を進めていたが、落ちていた金属片（ゴミ）が刃の回転で勢いよく弾き飛び左手中指に当たって受傷した。				9
2017	7	11~12	事業主自宅の木を脚立に乗って剪定作業をしている時に誤ってバランスを崩して脚立から転落（高さ1.8m）し、腰部を強打し負傷した。	44	371	1	1~ 9
2017	7	8~9	樹木剪定作業中、チェーンソーを左手で持ち、右手で枝を持って切断し、それを背面方向に振り向き地面に落とし、その後正面に振り向き直した際、右手親指付け根にチェーンソーの刃が接触し負傷した。	54	136	8	10 ~ 29
2017	7	14~15	22トン送電鉄塔基礎工事現場で、スライドアーム式バックホウ（0.45?級）の点検作業中、作業員がスライド部固定ピン箇所を手を添えた状態に気付かず重機運転者がスライド部分を稼働させたため、作業員の左手（人差し指）が挟まれ負傷した。	47	142	7	1~ 9
2017	7	14~15	境内樹木管理業務に於いて、低木の刈込作業及び除草作業を行っていたところ、作業用の踏み台としていたコンパネが作業によりずれ動き傾いたため約2.4mの高さから転落。腰部を強打したため腰椎を骨折し脊臀部に打撲傷を負ったもの。	47	416	1	10 ~ 29
2017	7	14~15	店の外周に於いて、除草作業後の刈草を集めようと草の下に手を差し入れた時、マムシに右手中指を咬まれ受傷した。	49	911	90	30 ~ 49
2017	7	16~17	現場（運動場）内で外周側溝（PC）敷設のため、据付高のちょう張り作業を行っていた。木製杭打ち込みの前段で鉄製ピンを石頭ハンマーで仮打ちした後、引き抜く際にピンが抜けにくかったため、ピンを横から叩いた際ピンの一部が欠けて飛散し、被災者の左目を直撃した。	54	364	6	1~ 9
2017	7	15~16	外構工事の現場にて、門扉を設置する時に地面の土を掘削している時に（シャベルにて）地面の土が非常に硬く、力を入れてシャベルを勢いよく土に突き刺そうとした時に肩に強い痛みがはしり、負傷した。	20	921	19	10 ~ 29

2017	7	10~11	仕事の手伝いをするために敷地内で荷物を確認する作業をしようとしてダンプから下車した時に荷台ステップに足を踏みはずし、背中から落下した。ダンプは10トン車で2mの高さから落下した。	60	221	1	10 ~ 29
2017	7	14~15	敷地内で、剪定作業をしているとき、剪定枝が落下してきたため、それを避けようとしてバランスを崩し、高さ約1.5メートルの脚立より転落した。	35	371	1	1~ 9
2017	7	15~16	国道で、道路沿いの草刈作業に従事していた。刈払機を使用して沿道のフェンスから出ている草を刈っていた際、刈払機の刃がフェンスに接触し、飛んできた破片が右目に入り負傷した。	56	169	4	10 ~ 29
2017	7	13~14	路肩の草刈り作業中に草刈り機に絡まった残葉を取り除こうとしてバランスを崩し草刈りの刃に手が触れた。	42	169	8	1~ 9
2017	7	11~12	作業現場で墓石の工事中、高温多湿の中での作業のため脱水症状となり、めまい、吐き気等が起きた。	64	715	11	1~ 9
2017	7	11~12	草刈り作業中、フェンス周りを、草刈りしながら前進している時に、釘を踏んで、左の足の裏を負傷した。当日は傷を水で洗い流して止血したが、翌日に化膿してきた。	45	911	90	10 ~ 29
2017	7	15~16	当本社敷地内の材料置場（倉庫）内でコンクリートガラの片付け作業中、誤って手を滑らせてしまいコンクリートの破片が右足首の薬指の付け根の上に落下した。	70	529	4	10 ~ 29
2017	7	15~16	仕事中に嘔気及び手足背中がつる等の症状があった。	38	715	11	30 ~ 49
2017	7	15~16	資材置き場（兼工場）において場内の片付け作業で、資材置き場の隅にある所定の焼却場所で切り株（敷地内の木）を焼却する際、廃棄未処分の箱（40cm×30cm×20cmぐらい）を火の中に投入したが、爆発を起こし、両手足を火傷した。尚、箱には未使用のビニール袋入り粉末アルミ粉が入っていた。	66	512	11	1~ 9

2017	7	17~18	会社の倉庫に置いたトラックの上でパレットを積んでいるときに、パレットが何かのはずみで跳ね返り、パレットとパレットの間に足が挟まり転倒し、左足じん帯を損傷した。その後の診断で骨折が判明した。	51	379	3	10 ~ 29
2017	7	10~11	体調不良で車内で休息したが、回復せず、本人が希望したため、同行していた別の社員が救急車を要請し、入院した。	56	715	11	10 ~ 29
2017	7	11~12	当社車庫にて、整備作業中に、後方部に移動する際、左足を踏み外し後方に倒れ、右腕だけで体重を支えるような状態になり、右肩を負傷した。	64	921	19	30 ~ 49
2017	7	10~11	深さ25mの立坑内にある人孔築造工事の現場にて2人で測量中、被災者も測量作業のために梯子を降り現場に向かっていった。約10m地点の4段目踊り場にて、安全帯から安全ブロックを取り外す際にめまいを起こし、安全ブロックのワイヤーが首に巻き付き擦れるように外れた。	40	379	8	10 ~ 29
2017	7	8~9	駐車場入口にて測量作業の待機中、一般車両から相手の過失により正面衝突された（人対車）。	59	231	17	10 ~ 29
2017	7	15~16	樹木の剪定作業中、蜂の巣に気付かず蜂に刺され、まもなく動けなくなった。	37	719	90	1~ 9
2017	7	14~15	民間による剪定工事現場で脚立の3段目に上がってトリマによる刈り込み作業中、降りる時に足を踏み外し、機械と指が接触して負傷した。	23	169	8	1~ 9
2017	7	9~10	庭で剪定作業中、高さ5m位ある木（デツリンジン）の3m辺りのところに登っていた。直径10cm程の枝に乗ったところ、その枝が折れ、3m下へ落下した。（枝は葉が茂っていたため、外見からは気付かなかったが、半分程枯れていた。）下へ落ちた際、庭石で胸部を打ち肋骨を折り、肺挫傷を負った。	38	712	1	1~ 9

2017	7	16~17	現場から自家用車で事務所に戻る途中、交差点を青信号（矢印信号）で直進していた。前方右側から自転車に乗った70代の男性が南側から斜めに横断してきたため、視界に入らず、ブレーキが間に合わなかった。自転車は赤信号にて交差点内に進入した。	25	231	17	30 ~ 49
2017	7	9~10	処分場法面工事場において、吹付前準備作業（スぺーサ・水板パイプ・目地材設置）の際、親綱にロリップを取り付け、法面（法長5m）に下りようとした。法肩から1m位下がった時に親綱が外れ、墜落した。腰椎圧迫骨折・骨盤にひびが入った。	34	379	1	10 ~ 29
2017	7	11~12	傾斜地の山腹において、仮設モノレールの架台の支柱を撤去作業中、人力にて支柱が緩んで外れないため、ハンマー（1.3kg）を使用して、架台のビームを地面側より逆さまに打ち外す作業を行っていた。ハンマー使用者は被災者に対しビームをハンマーで打って外すので、手を入れたり支えなくても良い事を事前に伝えていなかったために、被災者は、急にビームを両手で支えたため左手薬指にハンマーがあたり、薬指が粉碎骨折。	19	364	6	1~ 9
2017	7	1~2	26?ルート（2工区）立坑ライナープレート6段目（G?-3.5m）設置作業時において、クレーンにより地上から吊下されたライナープレート（38kg/枚）を設置作業をしている者に手渡しをする際によろめき、持っていたライナープレートを倒しそうになった所を咄嗟に押さえた際に左手首を負傷した。	23	521	19	1~ 9
2017	7	16~17	会社の置場のマツの剪定をしていたときに12尺の三脚の上から2段目とマツの枝に足をかけていたところ、バランスをくずしアスファルトの地面へ両足から落下しその反動で左に倒れた。	42	371	1	1~ 9
2017	7	11~12	残材捨て場において、2tダンプが停車した状態で、合図者がダンプ運転手を誘導して荷下ろし作業中に積荷枕木が跳ねて左足後部を負傷した。	64	221	6	1~ 9
			荷持ちを両手で運んでいる時に、現場にあった高密度ポリエチレン				

2017	7	16～ 17	管の上を渡り歩き滑って転び胸を打った。現場は荷物を運ぶのにそのポリエチレン管の上しか歩く所がなく、やむなくその上を渡り歩いた。	35	417	2	1～ 9
2017	7	7～8	朝、出勤直後会社の駐車場で普段自分が使用している会社の軽トラック荷台に積んであった締固め機械（ランマ）を一人で下ろそうとして誤って右肘を捻ってしまい捻挫した。	65	921	19	～ 29
2017	7	10～ 11	公園北地区護岸部分で手カマを使い草刈作業中、草むらの中から突然出てきたマムシに左人差し指を噛まれた。	73	719	99	1～ 9
2017	7	15～ 16	先達発電所施設上流にある取水工排砂門に流木が掛かっているため除去する工事で、準備作業のため排砂門上屋（幅3.0m長7.0m高さ4.80m）でバックホーの作業状況を監視しているとき、被災者が流木の絡み状態が気に入り単独で上屋ステップ鉄筋φ19mm幅0.3mの14段を安全带2丁掛けを使用しながら降りたところ、堰堤天端部60cm位のところで流木の枝があり、これに右足、左足で上がり体勢を替えるため左足を上げたところで右足が流木の上で滑り腰から落ちて受傷した。2丁掛安全带の片方はステップ（下から3段目）にフックに掛けていた状態であった。	41	712	1	10 ～ 29
2017	7	16～ 17	庭の樹木剪定作業中、隣との境界の竹を切るためフェンス（高さ1.2m）を乗り越えた時、ズボンの裾がフェンスの針金に引っかかり体のバランスをくずして落下した際、右足ふくらはぎから出血しており、すぐに救急車で病院に搬送され診察の上、入院となる。	20	416	1	1～ 9
2017	7	9～ 10	当社従業員は道路工事作業中、4tダンプ後方のあおりを下げようとして、あおりのロックがはずれ落下し、右足の甲を痛めてしまった。右足甲にひびが入ってしまったため、しばらく安静が必要と診断された。	49	221	4	10 ～ 29
2017	7	16～ 17	モチの木の剪定中、脚立で作業後、安全ベルトを外し、枝に移動したところ枝が折れ庭石の上に落下し、右足首を骨折した。（約4m）	44	712	1	1～ 9
			小学校南側の市道（小学校放課後児童クラス外構工事）において、				

2017	7	15~ 16	水道管取り出し工事中、掘削作業（深さ1.5m×幅1.0m）で手元作業をしていた被災者が、手をついて掘削床に降りた際、床に立て掛けてあった鋤簾（じょれん）に気付かず降りたため、柄先が股間に当り受傷した。	19	364	3	1~ 9
2017	7	18~ 19	現場作業終了後、会社資材置き場にて、機材格納のため4tトラックの荷台上（高1.2m）で酸素ビン（約70kg）の荷下ろし作業中、酸素ビンを移動すべく力を加えたところ、酸素ビン底部と手が滑り、酸素ビンが倒れ掛かったので、荷台より飛び降り着地した際、地面の窪みに左足が入ってしまい、同足首を捻転し負傷した。湿布薬を貼付して様子を見たが改善が見られず、痛みが増悪した。	43	221	3	1~ 9
2017	7	10~ 11	材料を積み降し中、石に躓き足を挫いた。	63	417	2	1~ 9
2017	7	9~ 10	工場現場で、天井にアンカー作業をした後、機械を両手で持って脚立から降りる際、誤って脚立から転落してしまい、肋骨骨折と内臓出血の怪我を負った。	46	136	8	1~ 9
2017	7	10~ 11	新築工事に伴う給水管取出工事において、給水管を掘削し、配管をする箇所に大量の雑草が生えていたため、作業員がエンジン式草刈機にて雑草を刈り込み中に、近くにいた被災の左肩に接触してしまい、負傷した。機械に草が引っ掛かり、引っ張って取ろうとした際、右後方で雑草を拾っていた被災者に機材が当たった。	35	169	6	1~ 9
2017	7	14~ 15	駐車場の塗装工事中、直径80cm程の土が入った植木鉢を二人で移動中、高さ30cm程度の段差があり、後ろ向きに進んでいた被災者が、そのまま行けるだろうと思い段差を降りた際、左膝を捻ってしまった。	56	419	19	1~ 9
2017	7	14~ 15	倉庫内にある三段棚の一段目に足を掛けて資材整理（籠筋を棚の二段目に片付ける作業）をしている最中、バランスを崩して落下した。バランスを崩した際に棚の二段目に載せてあった鋼材を掴んだが、鋼材と共に床に落下し、床に置いてあった塩ビ管と鋼材とに右	60	391	1	30 ~ 49

			足を挟まれ骨折した。				
2017	7	10～ 11	会社資材置場で鉄板（800kg）の整理整頓中、吊荷の鉄板が振れて、離れようとした際に足元に角材があり、躓いて左足首を捻った。	57	417	2	1～ 9
2017	7	15～ 16	資材置場で仕分け作業中、足がもつれて転倒し、左手を単管にぶつけ負傷した。	61	418	2	1～ 9
2017	7	10～ 11	納入予定の建設機械の運搬作業中に、建設機械を中型トラックに積み込む際に横滑りし、重機が転倒しそうになり、被災者が転落し、地面に転倒して足を負傷した。	46	141	1	1～ 9
2017	7	15～ 16	改修工事の施工中、ワイヤーに寄りが入ったため、それを取り除こうと、やぐらの上（地上11m程上）でパイプレンチを使用して寄りを戻していたとき、パイプレンチが手から離れ、落下させてしまった。危険を知らせようと声をかけたときに、下にいた作業員が顔をあげて上げてしまい、パイプレンチが額に当たり怪我をした。下にいた作業員はヘルメットを着帽していたため、頭部（頭頂部）の損傷は免れた。	34	364	4	1～ 9
2017	7	9～ 10	ゴンドラの解体作業中、柵を取り外すためにボルトを取り外したところ、柵が床に着いていた左手に落ち負傷した。	55	521	4	1～ 9
2017	7	16～ 17	現場で車庫の屋根のペンキ塗りをしていた。脚立を2つ並べ、その間に足場板を掛け、その上に乗り作業をいていたところ、体のバランスを崩したため、飛び降り、左足踵の靭帯を損傷した。	50	371	3	1～ 9
2017	7	11～ 12	解体工事現場にて、重機を洗浄するため、高圧洗浄機のホースを渡そうとしたとき、職人の手が当たり、誤って洗浄機のスイッチが入ってしまい、勢いよく水が出て、右目に当たり怪我をした。	52	169	4	10 ～ 29
2017	7	16～ 17	資材置場にて、庫内資材整理のため、仮設足場材をトラック搭載型クレーンを使用し、荷降ろし作業中に、積み荷の仮設足場材（単管パイプの束）の上に乗って玉掛作業をしようとしたところ、バランスを崩して足を滑らせ、そのまま背面より荷台の上から転落し、打	18	221	1	30 ～ 49

			撲および骨折をした。				
2017	7	16～ 17	被災者は、公園内で同僚と共に除草作業および倒木の枝切り作業を行っていた。枝切り作業を行うときに、小型チェーンソーを右手で操作し、左手で枝を握って切り落としていたところ、チェーンソーがはね返り、左手の親指と中指部分を負傷した。	49	136	8	10 ～ 29
2017	7	10～ 11	敷地内で、コンクリートの平板（重さ5kg、30cm角）を設置していたとき、腰に痛みが生じた。	41	523	19	10 ～ 29
2017	7	8～9	チェーンソーを使用して伐倒木の造材作業を行っていたとき、チェーンソーの刃が反発し、被災者の大腿部に当たった。	55	169	8	1～ 9
2017	7	10～ 11	客宅に小型合併浄化槽を埋設するにあたり、庭木を撤去をするために伐採していたところ、誤って手が滑り、左足太ももから膝にかけての間を手鋸で切傷した。	20	364	8	1～ 9
2017	7	13～ 14	昼休憩後、チェーンソーの刃を整備・動作確認中に、エンジンの調子を見るためにエンジンをかけたところで横を通りかかった被災者がふと覗き込んだ。その際、被災者の胸ポケットから計算機が落ち、咄嗟に拾おうとした被災者の手がチェーンソーの刃に触れて左親指を切った。	35	136	8	1～ 9
2017	7	13～ 14	倉庫内において、単独で整理整頓をしていたとき、立て掛けて置かれたバタ角（建設工事のコンクリート打設の際に型枠仮設補強などに使われる、約10cmの角材）が倒れて来て、首を負傷した。	56	522	5	30 ～ 49
2017	7	9～ 10	残土置場にて、石の加工のため、石を選別していたとき、上から転がってきた石に右手を挟まれ負傷した。	63	523	4	10 ～ 29
2017	7	9～ 10	資材置き場（兼工場）において、3m程の高さにある排水パイプ（塩ビ管）をノコギリを使って切断しようとしていた。その際、梯子に登って作業をしていたが、切る作業の振動などにより、梯子がずれ	67	371	1	1～ 9

			て倒れ、本人も約1.5mの高さから落下した。				
2017	7	10～ 11	現場内の歩道を歩行中、足を滑らせ転倒した際に、左肘をついた。 作業方法は、現場指示通りに施工しており、足元の確認が不十分であったと思われる。当日は打ち身程度と感じていたが、痛みがとれず、腫れも出たため受診した。	62	417	2	10 ～ 29
2017	7	9～ 10	土手の竹を伐採作業中に、切った竹が倒れかかって来たので、右手で竹を持ち、左手でチェーンソーを持っていたときに体のバランスを崩し、左手に持っていたチェーンソーが左足に当たって負傷した。	68	712	1	1～ 9
2017	7	16～ 17	資材置場の草刈りを行うために片付けを行っていた際、転倒して右手で支えたときに、右肩より異音がした。	43	417	2	10 ～ 29
2017	7	16～ 17	工場で鉄筋の加工中、材料を取りに移動していたとき、栈木に躓いて痛みがはしった。	18	521	3	10 ～ 29
2017	7	5～6	作業現場へ25tラフタークレーンで向かうため、県道を走行中、左側に寄っていることに気づかず、左側路肩に左前タイヤが落ちてしまい、ブレーキを踏んだが間に合わず、左側にクレーンが大きく傾き、そのまま土手下に転落し、負傷した。救急搬送され、肋骨・尾てい骨の骨折と診断された（自損事故）。	54	212	17	10 ～ 29
2017	7	10～ 11	盛土部ブロック積み天端において、草刈り作業中にカズラに引っ掛かったか、または片付けようとして、4.8m下の地面へブロック面に手をつきながら横向きに滑落し、骨折した。	63	416	1	10 ～ 29
2017	7	18～ 19	4tダンプで現場から本社駐車場に到着後、リヤのダブルタイヤの間に挟まっている石を取り除こうと、被災者が一人でバールを使って石の取り外しを試みたが、なかなか外れないので、近くにいた同僚と共にノミとハンマーで石を砕きながら石を撤去した。石の取り除きが無事終了後、石が挟まっていた箇所にゴムの膨らみの異常があることに気づき、被災者にそのことを伝え、被災者がその部分を確	63	221	15	30 ～ 49

			認しようと、タイヤ近くに右手を近づけた瞬間、内側のタイヤの側面がバーストし、その空気の勢いで右手を負傷した。				
2017	7	14～ 15	発掘調査現場で、日除け設備の移動作業をしているとき、立ちくらの様な症状があったため、その場で横にならせたが熱中症の疑いもあるため救急へ連絡した。	75	715	11	30 ～ 49
2017	7	9～ 10	空港滑走路増設現場の消波工において、クローラクレーン（150t吊）を使用し、消波ブロック16t型（層積み）の据付作業を行っていた。被災者は吊り降ろした消波ブロックに移り、2本掛けの玉掛けワイヤーのうち1本目のワイヤーを外し、次のワイヤーを外そうとしたとき、消波ブロックが傾き、その影響で2本目のワイヤーがテトラポットから外れて、被災者に接触したためバランスを崩し、下段の消波ブロック上に転落した。	49	372	1	1～ 9
2017	9	13～ 14	現場は山肌であり、排水路管を移設する作業であった。作業員2名で管の撤去を行う前で前後に並んで会話をしながら、山肌を歩いていると被災者の会話が急にとぎれ、一緒にいた作業員が付近を探したところ、山肌に直径60～80cm位であろうと思われる穴を発見し、その穴をのぞいたところ被災者が落ちていて、あおむけの状態で見つかった。落下深さはおおむね5～8mぐらいあると思われる。	25	414	1	1～ 9
2017	9	9～ 10	保育園の上にある道路脇の林の工事現場で、バックホウ（重機）に乗り排水溝を造る工事の作業中、約5m下の保育園建物と崖の間の保育園敷地内に転落し、バックホウの下敷きになり搬送先の病院で死亡が確認された。	58	142	1	1～ 9
2017	9	13～ 14	市内の道路上において、植栽復旧工事の丸太支柱打ち込み際、大型木づちが振り下ろされたときに丸太を支えていた作業員が杭の上に手を挙げてしまい、木づちに右手をたたかれた。	77	364	7	1～ 9
		13～	型枠を使用する材料を取りに4tユニックで資材置場に行き材料を積み終り、資材置場から100m走りだした時バンドが緩みそうになり、				10

2017	9	14	直そうとしてトラックに上がり足がすべり、トラックの荷台から2m下に落ちた。	44	221	1	～ 29
2017	9	7～8	運転草刈機のエンジンをかけたままで回送してしまい、間違っ て足の親指をいれてしまい切ってしまった。	46	391	8	1～ 9
2017	9	10～ 11	砂利採取場敷地内で除草作業中、刈機で小さな石が弾かれ、左目に入った。	47	391	4	10 ～ 29
2017	9	10～ 11	基礎工事中、碎石をならしている時、立てかけてあった、鉄板の6m/mが倒れて胸に当たった。	50	521	5	1～ 9
2017	9	13～ 14	区内の草刈り清掃中、土手の傾斜より転倒した。その際、使用していたビバーが右足首に接触し切傷した。	71	711	2	1～ 9
2017	9	11～ 12	現場内において、一輪車で荷物を運搬していたところ、足場が悪く、また予想以上に重量があったことから、無理な荷重がかかり、右ひざを負傷した。	51	611	19	50 ～ 99
2017	9	11～ 12	過酸化水素タンク基礎防堤工事現場でフェンス側に振動ドリルを用いて前孔作業中、削孔位置を変えようと足を動かした時、左足首に激しい痛みを感じた。	49	921	19	1～ 9
2017	9	10～ 11	作業場に於いて、墓地新設に使用する石材90cm×90cm×15cmをカットオフを使って加工し台から降ろす際、石が台からすべり落ち、右足を負傷した。	35	523	4	1～ 9
2017	9	13～ 14	建設機械の約50kg位のランマーの積みおろし作業中に、ランマーが倒れそうになった為押さえようとしたら一緒に転倒した。そのまま早退し病院を受診し、それにより右肘、右肘周辺を骨折した。	51	221	2	10 ～ 29
2017	9	11～ 12	多数の松の切株が点在している公園の草刈作業中、前方で作業をしていた従業員が切株を避けようとして方向転換しようとしたところ、後方から追いついてきた作業員の草刈機に右足がぶつかり転倒した。	70	169	8	1～ 9

2017	9	13～ 14	機材センターにおいて、ロッドの中に詰まったコンクリートを除去する為に、電動ドリルに鉄筋を接続して作業中に鉄筋のたるみを直して、被災者からの合図を受けて電動ドリルの作業者が始動した際に被災者の左手指が巻き込まれた。	50	169	7	10 ～ 29
2017	9	14～ 15	3tクレーン車荷台上にて、クレーン玉掛け作業中に、吊り荷と接触し、後ろ向きに荷台より転落し、頭部・肩・背中を強打し、右鎖骨1ヶ所と肋骨5ヶ所を骨折した、事故に及んだ原因は、クレーン操作者は操作位置からクレーン車の荷台が確認できなかったにもかかわらず、作業中合図者を置かなかったことや、作業員も作業中、クラッシャー作動中で、声が聞きとれなかったことや、玉掛け後も荷台に乗っていて、吊り荷から目を離してしまったことなどが考えられる。	65	212	6	30 ～ 49
2017	9	13～ 14	樹木の手入れ作業中、約2m位の高さでカイズカイクキをトリマーを使用して刈り込み中に足場の梯子がずれてしまい、トリマーを両手から離してしまった。近くにいた作業員に当たると思い思わず左手で掴んでしまい、小指から手の平、親指の腹までを裂傷したものである。	37	364	8	30 ～ 49
2017	9	11～ 12	庭園にて、維持管理作業中、斜面を移動していた際に足を滑らせ、右手を斜面についたところ、手首を骨折した。（前日の雨で地面がぬかるんでいた）	70	419	2	1～ 9
2017	9	8～9	当社資材置場にて、スライム入り1t袋をユニック車（3t）の荷台でフックをかけ吊り上げ状態の時を終え荷台から降りる時、アウトリガーに乗せた足をすべらせ、アウトリガーの角に右腹を打ちつけた。	68	212	3	1～ 9
2017	9	8～9	剪定業務準備の為、脚立を運搬中に足元の砂利が原因で、右足を滑らせ転倒しそうになり、体勢を立て直そうとふんばった際、右舟状骨を骨折した。	46	416	19	10 ～ 29
			当社資材置場にて被災者が2tトラックの荷台から重機を降ろそうと				

2017	9	17～ 18	してトラック荷台後部の鉄ドアを外そうとした際、鉄ドア下部の止め金が外れていることに気づかずに上部の止め金を外したため、長さ約2m、幅50cm、重さ約80kgの鉄ドアが左足に落下、小指を骨折、負傷したものである。	54	221	4	1～ 9
2017	9	16～ 17	外溝工事においてコンクリートブロック積工事の際、ブロックの穴に指をひっかけた状態で両手で一個ずつ持ち運んでいた時、地面に置いてあったブロックにけつまずきブロックを持った状態で地面に突いた際、左手中指が反り返り負傷する。	69	523	2	1～ 9
2017	9	11～ 12	常用土木工事において、外注傭車（ダンプ）のリヤゲートを閉めようとした際、右手の薬指をゲートに挟んでしまい、受傷した。	67	221	7	1～ 9
2017	9	8～9	建設資材置場で肩掛式刈草機で除草作業中、刈刃とコンクリート構造物が接触、刈刃が破損飛散し、右目に入る。	48	169	4	1～ 9
2017	9	16～ 17	密集した竹林の伐採作業中、一人が竹を刈り払い、地方が切り払われた竹を倒して搬出していたところ、刈込機の歯（チップソー）が地面に触れた途端、歯の回転によって左で搬出作業をしている従業員の左足に接触したものである。	47	169	8	1～ 9
2017	9	14～ 15	散水車ホースにて殺虫・殺菌剤を散布中、ホースジョイント部分近くを持ち力強く引っ張っていたところ、ジョイント部分の留金具が外れ、そのまま後方へ転倒してしまい、腰を強打した。	56	391	2	30 ～ 49
2017	9	8～9	仮設足場材の積込作業の際、トラック荷台より地面へとおりた際に足を捻った。痛みがあったが、当日の作業に出発、午後の作業中に痛みが強くなったので就業後に病院を受診、靭帯損傷と診断された。	20	221	3	10 ～ 29
2017	9	14～ 15	道路にある伐採予定のサクラの木をどのように伐採するかシミュレーションの為、脚立で5m登って確認してから、安全帯をはずしながら3m付近まで来た所で、足をかけようとしたら踏みはずし、ジャンプで着地を省みましたが、右足が不陸な路面だった為、ひねって	52	371	3	50 ～ 99

			踵を骨折した。				
2017	9	9~ 10	駐車場で草刈作業中、草刈機のエンジンが停止した為、再始動した時に高速回転の刃が障害物（鉄）に当たり、反動で跳ね返り、近くで防護ネットを持っていた被災者の左足すねに当たり骨折した。	66	169	6	1~ 9
2017	9	10~ 11	樹木撤去後の植樹柵閉塞作業に使用する改良土の入ったバケツ（約30kg）を軽四ダンプの荷台より台車へ移動を行う際、腰に痛みを感じたが、しばらくすると、痛みが和らいだため、作業を再開し、今度は台車からスコップで改良土を降ろす作業を行っていた時、スコップでの作業のため、腰をかがめ体を何回も回転させたため、前回以上に激痛が走り動けなくなった。	51	364	19	50 ~ 99
2017	9	9~ 10	ガス導管敷設工事の現場で、規制帯設置後、4tダンプトラックを規制帯に入場させ、定位置につけた後、運転手が4tダンプトラックから降車しようとして、ドア付近にあったカラーコーンに気付かず、つまずき転倒した。	40	379	2	50 ~ 99
2017	9	15~ 16	倉庫の2Fにある土のうを整理しようとして、梯子を上がり、2Fに向かう途中で梯子から転落し、左手を骨折、脱臼した。	23	371	1	1~ 9
2017	9	15~ 16	構内の坂道を迂回せずに、途中の傾斜を手ぶらで昇降していた時に、左足が溝より左側に傾いたので、左手で体を支えた手首を痛めて、そのまま横倒しに転倒して左胸を強打した。そのまま座り込み社有車で医師に搬送して診断を受けた結果、左手首と左胸骨折打撲、背部打撲で休業加療の見込みとなった。	64	711	2	50 ~ 99
2017	9	14~ 15	廃棄処理の草を運搬中に前方停止直前の4tダンプに後方からの2tダンプが速度減速しないまま追突した、2tダンプに乗車（運転手）していた。	57	221	17	1~ 9
2017	9	15~ 16	会社の資材置場で会社からの指示により、地区のマラソン大会の準備で旗を立てる作業を行うために、軽トラックに旗を積み込み、出発しようとした時、被災者が荷台に腰をかけているのに気付かず車を発進させ路面の段差によりバウンドした弾みで荷台から後ろ向き	49	221	18	10 ~ 29

			に転倒して、後頭部を路面で打った。				
2017	9	16～ 17	樹木の剪定作業中、カシの生け垣（枝が細く安全帯がつけられない）に登って剪定中、足を滑らし約4m下の地面に落下し、足等を打ち負傷した。	63	712	1	1～ 9
2017	9	17～ 18	工事現場での作業終了後、会社のトラックで帰社中にバイパスを走行中、センターラインを越えて、対向車と正面衝突し、死亡した。	66	221	17	1～ 9
2017	9	15～ 16	トンネル内でミニタイヤショベルを回送中、後方から普通乗用車に衝突され、主に、頭、首等を打撲した。	37	231	17	10 ～ 29
2017	9	13～ 14	道路整備に伴う松くい虫の伐倒作業中、伐倒した木が倒れる際に他の木に引っかかったため、引っかかった木（直径約25センチ、重さ約100キロ）にロープを巻き付け引き倒そうとロープを引っ張ったところ、根本が切り離れた断面から滑り落ちた、その際、被災者と木の距離が近すぎたため滑り落ちた木が左足を強打し負傷したものである。	33	712	6	1～ 9
2017	10	12～ 13	事務所内の警報器のスイッチを止めようとし、イスに乗った時、バランスを崩して転倒した。その際、右手をついて負傷した。	49	391	1	30 ～ 49
2017	10	15～ 16	公園の維持管理業務において、背負式ブロアにて落葉の集積作業中に、法面の落葉を飛ばそうと足を1歩法面にかけてところ、足を滑らせ転倒し被災した。	69	417	2	10 ～ 29
2017	10	19～ 20	作業現場に於いて、片付け作業中にランマを立て置き、移動した際にランマが転倒し、足の甲にぶつかった。	27	391	6	1～ 9
2017	10	14～ 15	外溝工事中、4t車の荷台から縁石（民地石17kg）を降ろす作業をしている際、手にはめていた軍手が荷台に引っ掛かり、縁石を左足に落としてしまった。	51	529	4	10 ～ 29
2017	10	10～	公園で樹木剪定中、使用していた脚立から降りているときに、脚立	59	371	1	1～

		11	の足を留めていたピンが外れて倒れてしまい、転倒した。					9
2017	10	21～ 22	水深2,700mに沈没した機体回収作業中、ウィンチのワイヤーをクレーンフックに取り替える作業の際、負傷した。フックより垂れ下がったワイヤーの撚りによって、回転し、暴れる状態であった。被災労働者は垂れ下がったワイヤーを固縛しようと左手でワイヤーの束を掴んでいた。ロープをさばく為、一旦手を離し、再度左手でワイヤーの束を掴もうとしたところ、ワイヤーのつぼに指が入っていることに気が付かず、ワイヤーにテンションが掛かり、つぼが絞られ、左手親指を挟まれ負傷した。	45	212	7		10 ～ 29
2017	10	8～9	交差点において、現場に向かって走行中、右折して来た車両（コンクリートミキサー車）が信号を無理したため衝突してしまい、頭部損傷によりドクターヘリで搬送された。	37	231	17		50 ～ 99
2017	10	12～ 13	墓基礎工事の際に、スコップで掘った残土を一輪車に載せ、2tダンプに積んでいる作業中、2tダンプの荷台から（幅60cm、長さ2m、スロープ約20度）渡って降りている際に、足の指が詰まった感じがしたので、（高さ約1m）から地面（アスファルト）に飛び降り、着地した時に、左足に全体重がかかり、左足、第1指、第2指、第3指、第4指を受傷した。	34	221	3		1～ 9
2017	10	11～ 12	駐車場において、小型チェーンソーを使って剪定した枝の小切り作業を行っていた。枝を切り終え、右手に持っていた小型チェーンソーを引き上げようと動かしたところ、枝を押さえていた左掌に誤って触れてしまい、左掌親指の付根に14針縫う切傷を負った。	44	136	8		1～ 9
2017	10	15～ 16	高さ約3mの脚立に乗って、植木の剪定作業をおこなっていたところ、ステップより足を踏み外し落下負傷してしまった。	33	371	1		1～ 9
2017	10	11～ 12	工業作業場で車庫工事の準備をしている時、U次溝（450サイズ）の移動中、U字溝とU字溝の間に左手薬指を挟んで負傷した。	24	418	7		1～ 9
		15～	公道にて掃除作業中に、相手のトラックが後進し後方の不注意により、ブロック塀とトラックの間に挟まれ負傷した。相手は後方に誘					1～

2017	10	16	導員を配置しておらず、気づいた時には、挟まれていた。カラーコーンは後進時に気づいていた。	68	221	17	9
2017	10	1~2	目的地の現場の切削完了後、回送車に切削機を積み込む直前、運転席から足を滑らせ転宅し、怪我をした。	48	221	1	10 ~ 29
2017	10	9~10	高等学校剪定工事の桜の剪定作業を行っていた際、脚立を木にかけ、登り、木の一番下の枝に手をかけたら、枝が枯れていた為根元から折れ、校門の門に転落し、背中から強打したもの。一部木に足をかけた1.5m程度の高さでの作業。	69	712	1	1~ 9
2017	10	6~7	解体工業資材等置場において、資材等の整理整頓をしようと2階に梯子をかけ登っていたところ、バランスを崩し墜落し後頭部、首、腰を強打負傷したもの。（本人記憶がなく、他の者が梯子の下に倒れているのを見つけ救急車を呼ぶ）	46	371	1	1~ 9
2017	10	15~16	当社置場にて残土の整理作業を行い、4tトラックにて、残土を処理する会社の置場へ残土を搬入した。ダンプの荷台に乗りスコップで清掃作業を行っていたところ、荷台の床で滑ってしまい、荷台のあおりに右脇胸、右脇腹付近を強打し、負傷したものである。	43	221	2	10 ~ 29
2017	10	8~9	自社所有の造成前の土地に、工事看板を取り付けようとした時、入り口の坂道でつまずき、転倒して左肩を打ってしまった。	51	417	2	30 ~ 49
2017	10	14~15	河床内の岩石のはつり作業中、岩石が硬くはつり機（ブレーカー）がはねあがり、左足甲に刺さった。	68	149	4	1~ 9
2017	10	11~12	工事現場において、タンクをつる作業をしようと高さ1.6mCタンクから隣のタンクに移動したところ、足を滑らせて落下し、右腕と右腰を負傷したものである。	46	391	1	1~ 9
2017	10	15~	会社借用地にて、隣接林から同土地にずり落ちた間伐材（ヒノキ直径25cm）を1人で撤収中に、木材が斜面から予想外の方向に動き、退	50	712	6	10 ~

		16	避するも、右足大腿部内側に当たり受傷した。				29
2017	10	15～ 16	資材置場で工事の廃材・資材の仮置き場とするための場内整備の草刈りで手鎌で雑草の刈り取り・集草作業中に刈払機の作業員と接近し刈払機のチップが左足下肢に接触し切創（裂創）したものである。	70	169	8	1～ 9
2017	10	9～ 10	台風災害の倒木で、水路をまたいで電線に倒れた木をチェーンソーで数ヶ所切り処理する際に、思わぬ方向へ倒れ、足を挟まれる。	45	712	5	1～ 9
2017	10	12～ 13	ビル1階の天井のボードをバールで外す時に、脚立に乗っていたが、バランスをくずし落下して左肩を骨折した。	44	371	1	1～ 9
2017	10	15～ 16	新築工事現場に於いて、ラフタークレーン（12t）で資材の吊り上げ作業（オペ付賃貸）を行っていたが、トイレに行くためクレーンから降りる際、昇降ステップの近くに資材が置いてあったため、前方から降りようとフェンダー部分（高さ1.47m）に乗った際に足を滑らせて転落し、張り出してあったアウトリガー（長さ1.53m）に右腰を打ち付け負傷した。	60	212	1	10 ～ 29
2017	10	9～ 10	掘削作業中、約90センチメートルの深さで出た石をハンドブレイカーを使用して砕いていたところ、石からブレイカーのノミが滑ってしまい、ブレイカーを握る左手環指をブレイカーと掘削断面に挟み負傷したものの。	62	145	7	1～ 9
2017	10	15～ 16	排水管布設替工事現場内の掘削開口部内で配管作業中に、当事者の肩から足元に土砂が崩落した。	30	711	5	1～ 9
2017	10	6～7	当日、車両の整備のため点検作業（トラックの当社保管駐車場所において）を行っていた。荷台の点検をするため運転席後部に据え付けてあるハシゴを登ったところ、過って足を踏み外し高さ1.2メートルから落下し、腰部を打撲したものの。	65	221	1	1～ 9
		16～	本社資材置場にて、現場から返納された、軽量鋼矢板（LSP-I、1枚の重量は約50kg）L=3.5mを2名で、凸凹に積んであるのを、積み直				30

2017	10	17	しをしていた。2名で鋼矢板の両端は持ち、横に下ろす時に声掛けが合わず、右示指先端が鋼矢板の間に挟まった。	19	521	7	～ 49
2017	10	20～ 21	会社倉庫より看板等の荷物の積込作業のため、トラックの荷台より降りた際に左足を捻った。	47	221	3	10 ～ 29
2017	10	13～ 14	環状線の播脚に播脚補修のため設置されていた吊り足場の解体作業を行っていた。被災者（1名）は、解体中の足場上で足場床板を取り外し、搬出のための集積作業を行っていた。落下防止安全ネットを撤去し足場床板を結束している線の撤去作業をした。被災者は安全帯を着用していたが親綱を先に撤去していたため、フックを掛けておらず作業中にバランスを崩して高さ5.82mのところから転落し溺水。病院に搬送されたが、死亡した。	18	411	1	10 ～ 29
2017	10	18～ 19	事業所のヤード内でトラック荷卸し作業のとき、収納パレットに支柱を積む際にパレット下部に乗り、バランスを崩して後ろ向きに足をつき右足を捻挫した。	43	612	19	50 ～ 99
2017	10	13～ 14	顧客様の松の剪定作業を行っていた時、脚立の地上部より2m付近からバランスを崩し転落し、脚立に鼻下を強く打ち裂創及び口唇内側を挫創した。転落した場所にあった石に背中を強打し、強い痛みと腕の痺れがでた。	67	371	1	100 ～ 299
2017	10	8～9	被災者は港に停留中のグラブ船を整備するため、90cm×180cm、厚さ5mm、重さ約80kgの鉄板を2人で運搬しようとしていた。立て掛けてあった鉄板を持ち上げて横にする瞬間に強風に煽られ鉄板を落下させ、骨折した。当日は台風の通過した翌日で、瞬間的な強風がたびたび吹いていた。	54	521	4	100 ～ 299
2017	10	4～5	土砂置き場改良工事作業中、現場は海沿いで、台風の影響も受け、足元も悪かった。式鉄板の泥を洗い、汚れを落としている時に重ねた鉄板が、ずれてきたので思わず支えて右手を鉄板とコンクリート	48	521	5	1～ 9

			床に挟まれ、右手の平を挟み全体を負傷した。				
2017	10	13～ 14	現場内で勤務中。次の仕事の説明を受けようとして急ぎで移動中に10センチ以上の高さの段差を越えて、起伏凹凸の多い地面に踏み出した直後に右ふくらはぎに激痛を感じた。	51	711	19	10 ～ 29
2017	10	11～ 12	事務所で資材倉庫の片付作業（台風対策）が終了し、停泊している作業船（5t未満7.78m）に3人が乗り、港を出てすぐに、波が高くて船の先端が持ち上がり、船首附近に乗っていた被災者がバランスを崩し、デッキで臀部を強打し左大腿骨転子部を骨折したものの。	24	239	90	10 ～ 29
2017	10	10～ 11	支障木伐採のため、チェーンソーで木を切っていたが木が完全に倒れなかったため、再度チェーンソーを木に当てたところ木が突然倒れチェーンソーに当たった。その反動でチェーンソーが左足の甲に当たり負傷した。	19	136	8	1～ 9
2017	10	16～ 17	造園工事現場において、造園工事中、樹木の枝が駐車場に出ていたため、枝を切り、ブロック塀（高さ約2m）を乗り越えようとしたところ、足が壁に引っ掛かり、左足踵から落ち、左踵骨骨折となる。	24	417	3	1～ 9
2017	10	13～ 14	当社発注の休耕田の草刈り作業中、田周辺での作業中、足を滑らせ約1.5米下の民家敷地内に落ちた際、腰部に痛みが出たもの。	36	414	1	1～ 9
2017	10	15～ 16	舗装工事現場でスコップでアスファルト合材を運んでいる途中で踏み出した右足が滑り、そのはずみで左膝を舗装型枠に強打した。被災当日は当日作業を終えてそのまま帰宅したが、翌朝痛みがひかず、骨折が判明した。	23	417	2	10 ～ 29
2017	10	9～ 10	上のり面の樹木伐採作業を行っていた。その伐採作業において、伐採した枝がツルに絡まっており、落下する際に絡まっていたツルが作業員に向かって来たため、これを避けようとした際にチェーンソーの刃を誤って右腕に接触させ負傷したものの。	23	136	8	1～ 9
2017	10	15～ 16	社有車で営業のため向かっていたところ、眠くなったため引き返し、会社へ戻っていた途中で居眠りにより道路を斜行し、ブロック	68	231	17	300 ～

			塀とガードレールに衝突し被災した。				499
2017	10	8～9	資材置き場内において、資材、鉄骨など移動作業中において、落差2m下に足を滑らせて、コンクリートに落下したものである。	70	417	1	1～9
2017	10	11～12	雨上がりの現場で杭の打設作業中、杭の寸法を測ろうとした際に、中腰で測っていたら、いきなり腰に痛みがはしり、そのままうごけなくなったもの。	32	921	19	1～9
2017	10	11～12	墓石の解体中に出たコンクリートガラを二本の足場を引いた階段を重機を使い運んでいたところ、コンクリートガラが崩れ重機がバランスを崩し、階段下へ重機が落ちる寸前に、巻き込まれないように飛び降りた。この際に右肩から落ち負傷した。	56	141	3	1～9
2017	10	11～12	新築工事現場内で、ボーリングロッドを巻き上げ中ロッドがファスナーに引っ掛かったため、瞬時に巻き上げを解除したらボーリングロッドが落下した。そこへケーシングに掘削水の循環のための機具を取り付けるのに手を入れたため、右手とボーリングロッドが接触し右手（指）を骨折した。前の作業でボーリングロッドには高トルクで回したためのファスナーのすべりによる横傷があった。ボーリングロッド直下、機具を上から取り付ける行為は禁止していたのにも関わらず守れていなかった。	21	149	4	1～9
2017	10	14～15	排水工事現場にて、疎水材の入ったフレコンバッグ800kgの排水口のヒモを外す作業をしていた所、バックホーにて吊っていた袋のヒモが切れ、落下したフレコンバッグの下敷きになった。	73	611	4	10～29
2017	10	8～9	側溝の上にボイドを横に倒して置き1本切断しやすい様に少し出して高さ85cmの所でディスクグラインダーにて切断する時に左手でボイドを押えて片手（右手）でディスクグラインダーで切断した時に歯が左手の方へはねて左手指を負傷した。ボイドを切断する時の高さは腰高で無理な姿勢ではなかったがディスクグラインダーに保護カバーを取り付けていなかったために怪我の度合いが悪くなった。	63	153	8	1～9
			事業場でハシゴに乗り台風準備のためにロープで固定していた箇所				

2017	10	14～ 15	を撤去して足を滑らせ高さ1.40mぐらいの所から落ちて右足を強打した。原因としてはハシゴが少し濡れていたため、足が滑ったと思われる。	43	371	1	1～ 9
2017	10	14～ 15	事務所裏の除草作業中に足を踏み外し落下。ロープを設置していたがロープの届かない場所を作業していた。	42	416	1	10 ～ 29
2017	10	9～ 10	枯換木伐採工事現場で高所作業車に乗り、チェーンソーで枝切り作業中、小枝を切る際チェーンソーの刃が他の枝に接触し、その反動ではね、自分の左腕を切り負傷した。	54	136	8	1～ 9
2017	10	10～ 11	被災者は、路面排水のコンクリート削孔のため、歩車道境界ブロックの側面に削孔機（径100mm）でコンクリートを削孔中（斜度角約37度）、機械の突先が噛んで機械本体が回転し、抑えていた左薬指が電源コード及び機械に巻かれ、薬指を骨折した。（原因として、機械をはめ込む固定軸が短かったため、軸装入まで自身で機械を支えていた。）	34	149	7	1～ 9
2017	10	16～ 17	自社農場ハウス内で管理機使用の耕運中、耕運場所にぬかるみがあり管理機がぬかるみにはまり左足の長靴に管理機の刃が刺さり足首を捻る。	40	169	7	10 ～ 29
2017	11	15～ 16	自社、土場整理の為、コンパネを片付けていたが、足元を滑らせコンパネの角に胸を打ちつけた。胸が激しく痛んだが、休憩後、作業を続けた。2日間は胸が痛んだが、出勤し仕事をした。その後、腕が上がらなくなり、胸の痛みもあったので、仕事を休んだ。	69	379	3	30 ～ 49
2017	11	14～ 15	モデル住宅の外構工事で路盤の掘削作業中、バックホーの運転手の防寒着のポケットに旋回レバーが入り込んだことにより誤って作動し、被災作業員を住宅の壁とバックホーのバケットで挟んでしまい、上半身の圧迫と右耳もの裂傷の怪我を負わせてしまった。	67	142	7	1～ 9
2017	11	8～9	倉庫内で転圧機（プレート）を搬出しようとした際に、足元に物が	38	521	2	1～

			ある不安定な状態で引っ張り転倒して腰を痛めた。				9
2017	11	18～ 19	当社機材センターにて、当社所有の車から降りて自家用車に向かって歩行中、左足が滑って開脚状態となった際に、右足に体重が掛かり右膝を捻挫した。	69	719	2	30 ～ 49
2017	11	18～ 19	当社敷地内倉庫にて、翌日使用する工具の準備中、代表取締役と二人で準備していたが、工具棚（高さ2m20cm）の上の方の棚に置いていた工具を取ろうとしたら、そばに置いてあったエアブレーカーに肘が当たってしまい落下し、下の方で作業し屈んでいた被災者にぶつかってしまった。上の物を取る際、被災者に声を掛け、一時よけてもらったら、この様なことがなかった。	36	169	4	10 ～ 29
2017	11	13～ 14	場内を徒歩で移動中、雪で隠れていた凍結路面で足が滑り後方に転倒した。この時、体を支えるため左腕を伸ばし手をついた際、左腕を負傷した。	69	719	2	30 ～ 49
2017	11	15～ 16	駐車場の舗装工事において、鉄製のレーキという道具を使用して同所に敷いた高温のアスファルトを平らにならす作業中、底の厚い安全靴を履いていたものの、適宜高温の場所への出入を調整しなかったため、両足の裏部分に水膨れができる熱傷を負った。	46	529	11	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	太陽光発電設備工事内において、バックホウで法面整形をしている時に、バケットを左に旋回させた際、作業員が重機の作業半径内に立ち入ってしまい、作業員の左足とバケットが接触し、足の甲と小指を骨折した。	25	142	6	30 ～ 49
2017	11	8～9	会社倉庫内で板を切断していた時に、テーブル丸鋸台で板を切り戻す際に、誤って手を出してしまったため、被災した。	68	131	8	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	置場内にてコンテナ内のフレコン整理中、作業が一段落したため、コンテナ何から下りる際、2m程の高さから足を踏み外し落下した。その際、コンテナに立て掛けてあった足場材にぶつかり陰部を強打した。	19	611	1	10 ～ 29

2017	11	10～ 11	樹木の剪定作業中、ケヤキの枝が電結線にかかっていた為、梯子に登り、下段3段目で足を踏み外し、着地の際に足首を捻った。	51	371	1	1～ 9
2017	11	18～ 19	本社駐車場にて現金輸送車を洗車中に足を捻る。	67	522	3	1～ 9
2017	11	12～ 13	こんにやく工場内でこんにやく製造機のギアを別の商品のギアに交換するため、お湯のタンクの縁に乗って作業をしていたところ、長靴が滑って左足がお湯の中に落ちて火傷を負った。（お湯は75℃～85℃位）	43	521	1	30 ～ 49
2017	11	12～ 13	ガス管理設工事において、150A鋼管（9m×5本=45m、900kg）を掘削溝内に吊り下ろす位置まで台車で運んだ。掘削溝から離れていた為、位置を調整していたところ、端部から掘削溝に滑り落ち始め、被災者がパイプと共に転落して挟まれ被災した。運搬台車はキャスター付きで、4輪とも回転するタイプであった。	55	521	1	30 ～ 49
2017	11	14～ 15	仕事を終え帰宅するため、会社敷地内の駐輪スペースで自転車に乗ろうとしたところ、バランスを崩し転倒し左手を負傷した。	60	221	4	30 ～ 49
2017	11	10～ 11	山林にて間伐作業中に、胸高直径約15cm、樹高約10mの立ち枯れの木を伐倒したところ、隣の立木に当たり、伐倒木の上部が樹冠から約1/3の部分で折れて受傷者に落下してきた。それを右手で払い避けた際に右肩を負傷した。	62	523	4	1～ 9
2017	11	11～ 12	構内にて、商品上部のビニールが剥がれていたの直そうと、フォークの爪に乗り作業し、下に降りようとした際、足がチルトレバーに触れ、マストが傾いてしまい、体が本体とマストに挟まれ、腰を打ってしまった。	19	371	1	10 ～ 29
2017	11	11～ 12	脚立に乗り作業中バランスを失い誤って転落し、落ちた場所にブロックがあり腰を強打してしまい負傷した。	24	371	1	1～ 9
			ガス管理設工事において、150A鋼管（9m×5本=45m、重量900				

2017	11	12～ 13	kg) を掘削溝内に吊り下ろす位置まで台車で運んだ。掘削溝から離れていた為、位置を調整していたところ、端部から掘削溝に滑り落ち始め、被災者がパイプと共に転落して挟まれ被災した。運搬台車はキャスター付きであり、ストッパーは付いていなかった。現場巡視及び点検の為の出張（消火器の点検）※会社パトロール	52	521	4	100 ～ 299
2017	11	17～ 18	事業所敷地内で点検・整備を終え帰ろうとしたところ、業務で使用していた8tトラックの運転席に私物の携帯電話を忘れたことに気づき、トラックの運転席から携帯電話を取り、降りようとしたところ足元が滑りバランスを崩して地面に落ちた。	37	221	1	10 ～ 29
2017	11	9～ 10	自社墓石展示場内において、展示場内の墓石の組替え作業中、石材クランプで石を吊り上げ終わり、石からクランプを外そうとした時、安全フックが外れてしまいクランプが急に閉じようとしたため、石に当たるといけないと思い手でクランプを押さえた際、クランプに左手を挟み負傷したものである。	50	379	7	1～ 9
2017	11	11～ 12	当事業場倉庫において冬囲・倉庫片付作業中、昼休憩につき資機材をトラックに片付け、トラックの荷台幌を降ろそうと引っ張った際、アオリがしっかり固定されていなかった為、バランスを崩し、被災者は荷台から地面に右足から着地し、足を強く捻り負傷した。	63	221	1	1～ 9
2017	11	15～ 16	温泉掘削工事現場において、掘削機械にドリルパイプを追加後、親ロッドを巻き上げてミッションスリップを引き上げる際に右手を親ロッドに添えた状況で巻き上げた。親ロッドが巻き上がることで、スピンドル内に右手小指が挟み込まれて負傷した。	56	149	7	1～ 9
2017	11	15～ 16	中コースNo.9ホールにおいて、排水管を布設中、掘削側面が崩れ落ち、中で布設作業中の作業員が巻き込まれて被災した。	36	711	5	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	土場片付け・整備作業で単管（縦向き2mを15cm切断）をグラインダーで切断中弾き単管を支えていた左手の平にグラインダーの刃が接触した。	36	153	8	1～ 9

2017	11	14～ 15	第1資材センター内事務所2階の片付けをしていた際、不要になった図面等を抱え持ち階段を下りてきたが最後の3段目でバランスを崩し前面より転落した。右手をつき右顔面を強打した。	48	413	2	30 ～ 49
2017	11	6～7	安全サークル活動の一環として、当社手持ち工事安全パトロールで移動中、タイヤがスリップし、ガードパイプを突き破って、車ごと落下してしまい骨折等の怪我を負った。	45	231	17	10 ～ 29
2017	11	11～ 12	作業場土場にて、パートナーカッターで直径150mmの水道管をカットする作業中、手元が滑り、反動で刃が顔面右側に直撃し、負傷したもの。	53	159	8	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	勾配のきつい下り坂で、除草作業中に停車させた作業車が、サイドブレーキが不十分で動き出してしまい、停車させようと運転席側に回ったところ、作業車に轢かれた。	73	221	17	1～ 9
2017	11	11～ 12	個人宅の外構工事現場において、ブロックアンカーに鉄筋を入れる作業中、法面で足を滑らせて前向きに倒れた時、アンカーにさしてあった鉄筋で首の左側を切創した。擦り傷で大したことなく放置していたが、腫れてきたため病院で受診した。	58	521	8	1～ 9
2017	11	11～ 12	公園内で、草刈り作業中に、草刈り機械が誤って手から離れてしまい、草刈り機械の刃が、左手甲に当たり負傷した。	48	169	8	1～ 9
2017	11	19～ 20	会社前の土場で、ユニック車に左側の足場板を掛ける時、夜で周りは暗く、足場板が掛かっていることを確かめずに、掛かっているものと思い、手を離してしまった。足場板がそのまま落下し、左足を直撃し、損傷した。	21	419	4	30 ～ 49
2017	11	11～ 12	個人邸にて庭木の剪定作業をしている時に、脚立の高さ1.8mの所よりバランスを崩してコンクリートの地面に落下した。その際、右膝の皿を骨折し、その衝撃で、次にアゴを引いたように頭のとっぺんをコンクリートに強打した。その状態は、首の頸椎に2ヶ所、ヒビが入った状況である。頭も三針程度の損傷あり。	31	371	1	1～ 9

2017	11	15～ 16	個人邸樹木伐採工事に従事し、チェーンソーを使用して高さ約8mの立木を伐採中、折れていた枯枝が上部から落下し、ヘルメット着用の頭部に当たり負傷した。	36	712	4	1～ 9
2017	11	10～ 11	建物入口前、剪定も終わり、次の現場へ行くため強雨の中視界も悪く、小走りで慌てていたため片付中に特に段差もないところで躓いて転ぶ。その際に両手（左手はグー）両膝をついて左手小指を骨折する。顎にも擦り傷、両膝は打撲する。	55	417	2	10 ～ 29
2017	11	18～ 19	工事現場から帰社し、2tダンプから残材を降ろす際にサイドブレーキが甘く、傾斜地であったことから車両が後退し、道路脇の畑に転落したものである。本人は車両の制御を試みたが、ドアと道路法面の間に右手を挟まれ、手首を骨折したものである。	70	231	7	10 ～ 29
2017	11	8～9	会社でダンプトラックの荷物を積み下ろし時に、バランスを崩して転落しそうになったので、ダンプトラックから飛び下りた時に着地時の体勢が悪かったため、足を痛めた。	42	221	3	10 ～ 29
2017	11	15～ 16	剪定作業中2mの脚立を使用し、約1.8mの高さで作業をしていたところ脚立が斜めになり、バランスが崩れそのまま脚立と一緒に倒れ近くにあった石に右手を強打して、手首、薬指、親指を骨折した。	55	371	1	1～ 9
2017	11	13～ 14	直径5cm程の竹を伐採するため、切り口を入れ、竹をつかみ手前に折り倒そうとした際、切り口を入れた所から竹が切断して外れたため、バランスを崩し仰向けに転倒した。転倒した際に、地面から出ていた、すでに切った竹の切り株に腰があたったため、作業を中断し休んでいたが、胸が痛み出したので病院へ行った。	73	712	2	1～ 9
2017	11	11～ 12	現場施工完了後、現場で発生したガラと余剰合材を運搬する為、加害者が3tダンプの左後ろの歯止めを撤去した。その後、マニフェストの受け取りと次の現場の場所を確認する為、ダンプ付近で打ち合わせをしたが、次に向かう現場の地図が無く、被害者が現場の場所を個人スマートフォンにて調べていた模様である。加害者がダンプに乗り、バックさせる際にダンプ後方でしゃがみ込んで会社のス	25	221	17	1～ 9

			スマートフォンにて電話をしながら、個人のスマートフォンで場所を調べていた被害者に気付かず後進し、ダンプの下に巻き込んで被災した。				
2017	11	9~ 10	個人宅造園工事において、造園工事の妨げになる庭先の支障枝を落とそうと脚立に上って作業をしていたら、バランスを崩し地面に落下し腰を打ち付け負傷した。	44	371	1	1~ 9
2017	11	9~ 10	機材センターでトラックに積込作業をしている時、導水管が腰に当たり骨折した。	39	521	4	10 ~ 29
2017	11	12~ 13	現場で測量作業中に、丸太倒木を踏み越えようとして丸太に足をかけたところ、足を滑らせてバランスを崩し転倒し、左脇腹を丸太で強打した。	51	522	2	1~ 9
2017	11	9~ 10	店舗増築工事において敷地外周のフェンス設置で、既設コンクリートブロックの天端に、フェンス基礎の穴をコアカッターにて削孔している時、コアカッター本体を両手で押さえていたが反力で回転し、作業車が回転方向に振られて、1.5m下方の側溝に墜落し骨折した。	49	149	1	1~ 9
2017	11	16~ 17	斜面での清掃作業中、移動の際に足を滑らせて前のめりに転倒、下方に滑り落ちて斜面下にあった構造物に額をぶつけ、裂傷を負った。	72	719	1	1~ 9
2017	11	14~ 15	池の護岸改修工事において、護岸の裏面にある樹木を伐採後、右手でチェーンソーを持ち左手で樹木を持ち切断中に木に付いていたツルが機械に巻き付き、滑って左手の親指に接触して指を切った。	45	136	8	1~ 9
2017	11	7~8	会社の場内で、始業時の打ち合せ場所に集合するため歩いていたところ、前方に停止していたトラックが急発進してきたため、左前輪に轢かれ足を負傷したものである。	76	221	17	1~ 9
		14~	植栽を行うため床掘削の作業中、スコップで土を抱えながら体勢				1~

2017	11	15	をひねった時に、手術を行ったことのある右半月板付近に違和感を感じた。	34	911	19	9
2017	11	11~12	工事現場にて、法面部分を高さ約1.5mの擁壁に立って草刈機にて草刈作業中、草刈機の歯がソテツに当たりその弾みでバランスを崩し、擁壁から落ちそうになった為自ら道路へ飛び降りた。その際、右足を負傷した。	62	719	1	1~9
2017	11	21~22	事務所作業場にて鉄骨資材塗装中に、養生中の鉄骨を倒してしまい、指を挟んでしまった。	26	521	7	1~9
2017	11	13~14	道路側溝修繕業務作業中、電動丸ノコで木材を切断している際に誤って指を巻き込んでしまい、左手親指の第一関節辺りから、指を切断した。	41	131	7	30~49
2017	12	9~10	当社事業所において、作業員2名で仕事納めの事務所内大掃除で発生したゴミを捨てる為、1.5tトラックにゴミを積載し搬出し、じん芥焼却場積み降ろし場で被災者はトラック荷台に上がり飛散防止シートを撤去したあとトラック荷台から降りるため、助手席側のステップに足を掛けたところ滑って不安定な姿勢のまま左足を地面に着いたことにより負傷した。当初は足をくじいたと思われたが、病院を受診したところ、左足首を骨折したことが判明した。	60	221	1	10~29
2017	12	16~17	土場の倉庫内で作業中に発電機（50kg程度）を1tトラック荷台より移動させるため持ち上げようと力を入れたところ腰に激しい痛みを覚えた。	61	612	19	10~29
2017	12	0~1	雪見パトロール時に降雪状況の写真撮影のため、黒板を持っていた所、黒板が風にあおられ、左足にあたり転倒した。	42	379	2	30~49
2017	12	8~9	会社倉庫でパネル床板穴あけ作業を電動ドリルを使用して行っている最中にパネル床板に穴が開いた瞬間、手元が狂い、電動ドリルが暴走して左手小指の第二関節より先を損傷した。	59	169	8	1~9

2017	12	14~15	敷地内で、会社事務所の屋根の氷を落とす作業をしていた時に、高さ約2m50cmの所から大きさ約30cm、重さ約2kgの氷の塊が右足の小指の上に落下し骨折した。	26	719	4	~	99
2017	12	9~10	産廃処分場で、仮置きしていた資材を積むため、4tダンプのあおりが荷台と水平になるロックがついているかどうか、トラック後方で確認作業をしている時、ダンプの荷台を上げ、あおりが自動でたおれた際、誤ってあおりと荷台の間に手をかけてしまい、あおりと荷台の間に挟まれ負傷した。	72	221	7	~	49
2017	12	9~10	法面工事現場内にて、一度緊張をかけたアンカーの緊張を解放する為に、現場内にあったアンカープレートを利用して、油圧ジャッキにて緊張をしながら楔を抜こうとしたところ、アンカープレートが横滑りし、一度受圧板に当たって跳ね返った先の被災者の左大腿部にアンカープレートがあたり、被災者が転倒した。	47	149	4	~	29
2017	12	16~17	会社構内において3tダンプに道具を積み込もうと後部のアオリを外そうとして、サイドレバーを外したところ、アオリ下のフックが掛かっておらず、アオリが落下して、右足甲の安全靴に当たって負傷した。	42	221	4	~	29
2017	12	16~17	朝礼時から強風が吹いていたが、午後から風が弱まったため、風の様子を見ながら資材置場で資材整理作業をしていた。突風により、朝礼看板脇に設置済みのコンパネが飛散し、約30m先で作業をしていた被災者にあたった。	46	522	4	~	29
2017	12	15~16	自社資材置場で鋼材（H-300）を整理する為にクレーンにて鋼材を吊り、積み重ねている作業中に、被災者が後ろ向きで移動中、クレーンで吊り上げられた鋼材が荷ぶれを起こし、鋼材と鋼材の間に左足ふくらはぎ部を挟まれ被災した。	54	211	6	~	49
2017	12	8~9	現場内にてバックホー0.4?に乗車しようとした際に、ゴムキャタ部で足を滑らせ転倒し、左大腿部をゴムキャタに強打して骨折した。	70	227	1	~	49

2017	12	16~17	会社の置き場にて、トラックへの積み込み作業中、地上2.4m程の高さのトラックの荷台のふちで作業をしていたとき、足を滑らせて転落し、脇腹を打った。	21	221	1	1~9
2017	12	9~10	低圧ガス管取り替え工事において、被災者が掘削機の排気による地先の生垣の枯損を防止するためのコンパネ設置が終わったため移動しようとしたところ、被災者の進行方向に掘削機がバックし、掘削機のキャタピラに足を轢かれ負傷した。	29	142	7	10~29
2017	12	15~16	高さ4mの単管足場上で足場解体作業中、先に解体してあった縦単管を誤って掴んでしまい、墜落した。	50	411	1	30~49
2017	12	11~12	工場において、当社廃プラスチックを片付け廃棄処分すべく同工場に運び、事務所にて受付を済ませ外に出て段差養生のための鉄板に足を乗せたところ、不意に滑り左側前頭部から転倒し、その際右膝を打ち負傷したものである。当日の履物は長靴であり、雪はなかった。	53	417	2	1~9
2017	12	9~10	除雪車発着場にて国道及び県道の道路除雪を完了させ戻って来た後、ロータリー除雪車の上の雪をスコップで降ろす作業をしていた。その時足をすべらせて除雪車の上から転落した。落下高さは2.5m程で、落下箇所はコンクリート舗装面に20cm程の新雪が積もっていた。	64	149	1	10~29
2017	12	14~15	会社内倉庫で材料の片付けをしている時に、2人でパイプを運搬中に転倒してしまい、持っていたパイプと壁に指を挟んでしまった。当日、雪が降っていたので足元が滑りやすくなっていた為、十分注意はしていたが、雪下の碎石でつまずいてしまった。	65	417	2	1~9
			発電所取水ダムに魚道を新設するため、型枠組立作業現場において、単管パイプの残材の片付け作業を行っていたとき、長さ4mの単管パイプ45本を被災者が玉掛用ワイヤーロープ（9mm、? = 4m）2本を使用して単管パイプフレーム（100本用）と一体となる様にして、				1~

2017	12	8~9	目通し吊りを行い、地切り後に無線機を使用してクレーン運転手に巻き上げの合図を送った。クレーン運転手は足場の陰より単管パイプが見えかけた所で旋回作業を行ったところ、単管パイプが滑る様に抜け落ち、被災者の上に落下した。	46	372	4	9
2017	12	14~15	道路パトロールの業務中、主要地方道の集水枘につまった草木を除去する為に枘蓋を取り外す際に蓋とアスファルトの間に指をはさみ負傷した。	32	379	7	—
2017	12	12~13	土砂流出災害により、国道を片側交互通行にして土砂撤去作業を行っていた。交通誘導員の昼休憩のため被災者と現認者が誘導を交代した。その後、進行してきた軽乗用車が作業中の右手法面に気をとられ停止合図に気付かず、被災者と接触した。	67	231	17	10 ~ 29
2017	12	7~8	当社資材置場において、倉庫の電球交換作業（高さ7500mm）を事業主と行っていた際（フォークリフトの爪にコンパネをのせ、梯子をかけて交換）、被災者がリフトの屋根にのり電球を事業主に渡し終えたところ、事業主が梯子から落ち、それと同時かは不明だが、被災者もリフトから地面に落ち、全身を地面に強打し負傷し、翌日に死亡した。（リフトの屋根から地面までの高さ、約2000mm）	76	222	1	1~ 9
2017	12	15~16	当社機材センター内にて、ミキサーの清掃作業中、セメントが飛び誤って両目に入った。	56	529	4	1~ 9
2017	12	10~11	駐車場の建設作業中、木材を切断中に誤って電気のこぎりの刃が左手人差し指に接触し、指をほぼ切断した。	32	131	8	1~ 9
2017	12	15~16	倉庫新築工事のうち、外構工事の現場にて、1.5mある穴の底面の大きさを測定しようと思い、地上から降りるときに足を滑らせ落下し、その際にU字溝のへりに右脇腹を打ち、骨折した。	62	414	1	10 ~ 29
2017	12	9~10	駐車場改修工事にて、路盤材敷設作業中、バックしてきたバックホーに左足首を踏まれ負傷した。	17	141	7	10 ~ 29

2017	12	6~7	PA内の清掃員倉庫入口にて清掃作業準備中に、入口にある17cmの段差に躓き、左肩から転倒した。	64	418	2	1~ 9
2017	12	10~11	アパート駐車場の舗装工事中に、4tダンプトラックを移動するため、4tダンプトラックに乗車して運転席ドアを閉める際に慌てていて、人差し指の先を挟んでしまった。	66	221	7	1~ 9
2017	12	13~14	民間依頼の仕事でタイヤショベルが必要になり、他社から借りるために車に乗って取りに行った。タイヤショベルを借り、それに乗り林道を運転していたとき、バックしようとして後輪が滑り、谷側にタイヤショベルごと転落した（高さ1.5m位、半回転して横転）。なお、ヘルメットとシートベルトは着用していた。	44	141	1	1~ 9
2017	12	13~14	立木（Φ400）にΦ500程度の腐食した木が掛かった状態であった。被災者は通常の方法では伐倒が困難と判断したため、職長と手順の確認を行った。被災者は立木を伐採したあと退避場所へ退避していたが、掛木が予定した方面に行かず回転し、被災者の方向に向かってきたため、再度退避しようとしたが間に合わず、腰付近を接触した。原因は、立木と掛木が一見すると共に倒れる程度に掛かっているようであったが、実際は立木に対して想定した程には荷重がかかっておらず、掛木が予期せぬ方向に転がったためである。	34	712	5	30 ~ 49
2017	12	15~16	自社の資材・車両置き場にて、土場の大掃除中に、高所の物置を片づけたあと、脚立で降りるときに足がもつれ、地面に飛び降りたときに負傷した。	39	418	3	1~ 9
2017	12	9~10	宅地造成工事現場において、不要となったコンクリート蓋を2tダンプに載せるため、重機積み込み用の足場を利用して人力で運搬中に、足を滑らせバランスを崩して転倒した。その際に2枚の足場の間に足が挟まり、左膝の外側を負傷した。	25	411	2	10 ~ 29
2017	12	15~16	積み上げたブロックの上で、新たにクレーンで吊り上げたブロックを積み上げるため、二人組でブロックの向きを整えていたとき、バランスを崩して転落した。	69	522	1	1~ 9

2017	12	15~16	2tダンプの荷台上でモルタルを練っていた際、前方から後方へ移動しようとしたときに足を滑らせ転落した。その際、既存のブロック塀に左肩を強打し、体をかばおうとして地面に左手をついたとき、左手首を骨折した。	70	221	1	30 ~ 49
2017	12	14~15	現場からの帰社途中、自動車の後部座席に同乗中に、運転手の脇見運転により、右カーブを直進し、歩道の縁石に乗り上げてガードレール支柱に衝突した。	37	231	17	1~ 9
2017	12	13~14	職場敷地内で樹木の剪定作業中、脚立から転倒し、着地のときに右手をついて受け身をし、手首を骨折した。	45	371	1	10 ~ 29
2017	12	7~8	当社資材置き場内で、コンテナを当社で再利用するため、コンテナの壁をサンダーで切断作業中、突然サンダーが壁にはじかれ、添えていた左手中指に当たり負傷した。	63	363	6	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html